

2026 年 度 （ 令 和 8 年 度 ）

福 山 市 神 辺 町 地 内

吉 野 山 公 園 法 面 復 旧 工 事 実 施 設 計 書

建設リサイクル法対象工事

工

事

概

要

法面工

モルタル吹付工

A= 384 m2

鉄筋挿入工

N= 66 本

高強度ネット張工

A= 230 m2

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、吉野山公園法面復旧工事に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

第8節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：福山市神辺歴史民俗資料館
- ・協議内容：交通規制の内容と期間について

第2節 埋蔵文化財の事前調査

- ・調査項目：埋蔵文化財確認
- ・調査時期：工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）

第3節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第4節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第5節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6節 任意仮設

・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。

第7節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第8節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・実施伝票は原本を提出すること。

第9節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第10節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和7年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 75 福山市(神辺) 00-08.06.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	07 砂防・地すべり等工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
	1	式			
法面工					Y1D0303 レベル2
	1	式			
小規模造成工					Y1H010201 レベル3
	1	式			
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】		m3			Y1A01010101 レベル4
人力切崩し 粘性土・砂・砂質土・礫質土					VJKK00001 00
	80	m3			単第0 -0001 表
人力切崩し 軟岩Ⅰ・軟岩Ⅱ					VJKK00002 00
	3	m3			単第0 -0002 表
人力切崩し 軟岩Ⅰ・軟岩Ⅱ					VJKK00002 00
	1	m3			単第0 -0002 表
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)					SPK25040007 00
	100	m3			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)	100	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)	4	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費	100	m3			FD00001 00
発生土受入費 軟岩	4	m3			FD00004 00
作業土工					Y1L07080801レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	50	m3			SPK25040015 00 単第0 -0005 表
床掘り 土砂 現場制約あり	3	m3			SPK25040015 00 単第0 -0006 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	40	m3			SPK25040020 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂 現場制約あり 締固め有り	2	m3			SPK25040020 00 単第0 -0008 表
吹付工	1	式			Y1D030302 レベル3
モルタル吹付 【セメント種類,吹付厚】		m2			Y1D03030201レベル4
モルタル吹付工 厚8cm [規]250m2以上500m2未満	384	m2			SS000267 00 単第0 -0009 表
のり面整形工 人力	384	m2			VJNS00001 00 単第0 -0010 表
鉄筋挿入 【鉄筋規格,削孔長,現場条件,施工規模】		m			Y1G01120701レベル4
鉄筋挿入工 現場条件II [規]100m以上200m未満	21	本			SS000259 00 単第0 -0011 表
鉄筋挿入工 現場条件II [規]100m以上200m未満	15	本			SS000259 00 単第0 -0013 表
鉄筋挿入工 現場条件II [規]100m以上200m未満	30	本			SS000259 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
削孔機械の上下移動	18	回			SS000261 00 単第0 -0015 表
仮設足場の設置・撤去	460	空m3			SS000263 00 単第0 -0016 表
鉄筋挿入工（材料）	1	式			VTSZ00001 00 単第0 -0017 表
法面ネット 【法面ネットの規格,法面ネットの種類】		m2			Y1H01040101レベル4
高強度ネット張工 人力 Case3	230	m2			VKNH00001 00 単第0 -0021 表
ざぶとん材設置工 CMPL-200用 100個未満	36	箇所			VHDZ00001 00 単第0 -0022 表
ざぶとん材設置工 CMPL-400用	30	箇所			VHDZ00002 00 単第0 -0023 表
高強度ネット張工（材料）	1	式			VKNHZ00001 00 単第0 -0024 表
排水構造物工	1	式			Y1B020607 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
暗渠排水管撤去 【作業区分】		m			Y1A01140805レベル4
暗渠排水管 撤去 直管 200～400mm	9	m			SPK25040093 00 単第0 -0028 表
モルタル練 高炉	0.01	m3			SPK25040158 00 単第0 -0029 表
復旧工					Y49001402F レベル4
1号集水桝設置工	1	基			VSPK002951 00 単第0 -0030 表
排水路復旧1	4	m			VHF00001 00 単第0 -0035 表
排水路復旧2	5	m			VHF00002 00 単第0 -0037 表
蓋版 1種普通ふた(JIS_A_5372) 300[400×60×600]	1	枚			SDT00017 00 単第0 -0038 表
仮設工	1	式			Y1D0310 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護施設工					Y1D031016 レベル3
	1	式			
仮囲い 【作業区分,基礎形式,高さ】		m			Y1D03101602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	80	m			SPK25040307 00 単第0 -0039 表
舗装版破碎積込(小規模土工)	87	m2			SPK25040018 00 単第0 -0040 表
仮設防護柵工 タイプⅦ H4.0m	46	m			VSHD20017 00 単第0 -0041 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	7	m3			SDT00031 00 単第0 -0051 表
不陸整正 補足材料無し	87	m2			SPK25040234 00 単第0 -0052 表
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	87	m2			SPK25040235 00 単第0 -0053 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	87	m2			SPK25040244 00 単第0 -0054 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)	4	m3			SPK25040155 00 単第0 -0055 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	7	m3			SPK25040155 00 単第0 -0056 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊	3	t			SPK25040412 00 単第0 -0057 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)	3	t			SPK25040411 00 単第0 -0058 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生殻受入費 As	10	t			FD00005 00
発生殻受入費 Co・無筋	16	t			FD00006 00
発生木材受入費	7	m3			FD00002 00
敷鉄板 【鋼材規格,作業区分】		m2			Y1A01150104レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板賃料 22×914×1829,289kg/枚 賃貸期間121日	31	枚			S1050029 00 単第0 -0059 表
敷鉄板設置	52	m2			S1050041 00 単第0 -0060 表
敷鉄板撤去	52	m2			S1050043 00 単第0 -0062 表
交通管理工	1	式			Y1D031021 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1D03102101レベル4
交通誘導警備員B	71	人			R0369 00
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費					YZZ04001004レベル4
		t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2.9km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0063 表
準備費					Z0005
準備費					YZZ05 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ05001 レベル3
	1	式			
木根等処分費					YZZ05001001レベル4
		式			
伐採・伐採除根 A箇所					VBS00001A 00
	1	式			単第0 -0066 表
伐採・伐採除根 C箇所					VBS00001C 00
	1	式			単第0 -0068 表

本工事費 内訳表

頁0 -0011

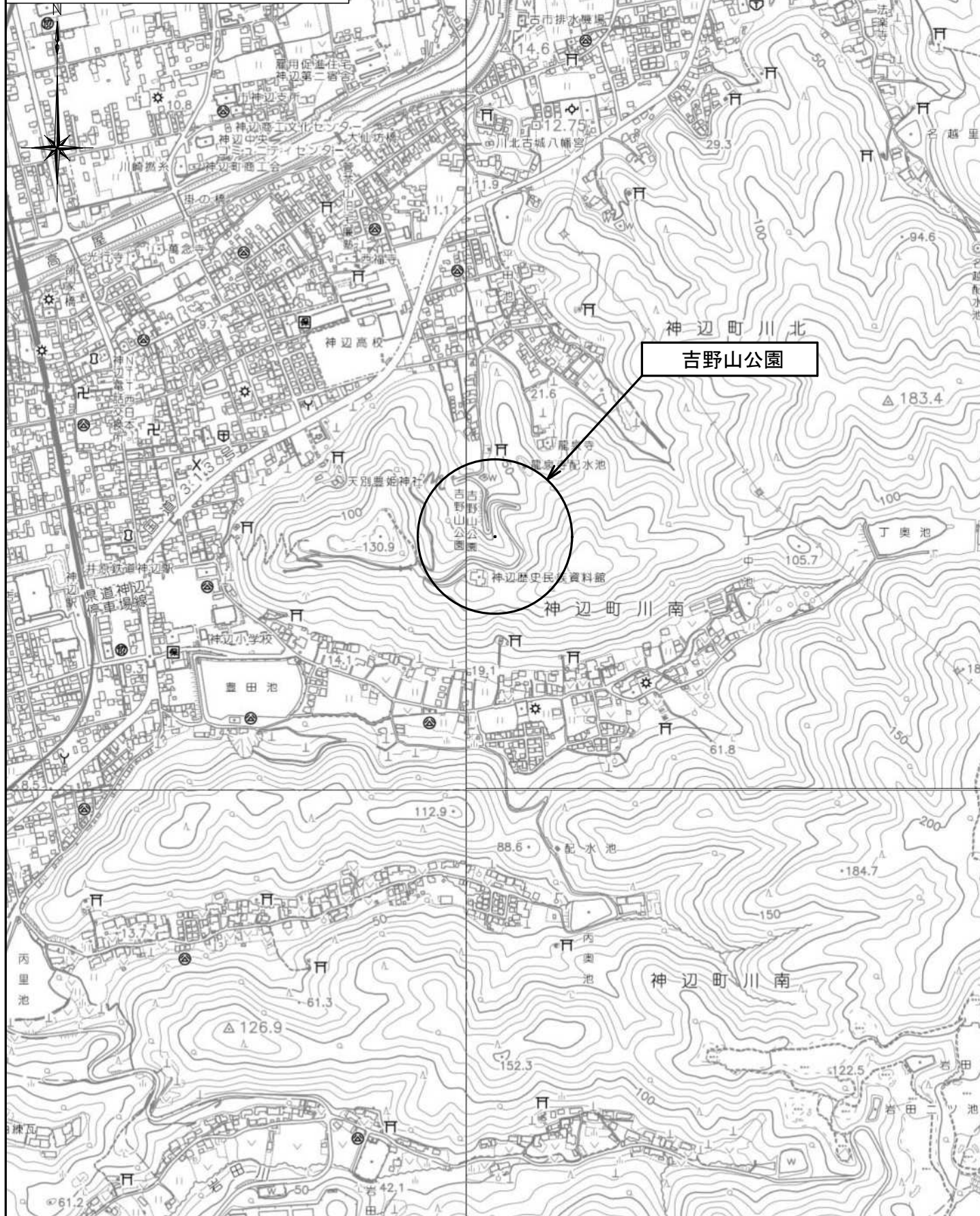
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伐採・伐採除根 E箇所	1	式			VBS00001E 00 単第0 -0069 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
発生木材受入費	23	m3			FD00002 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事原価					

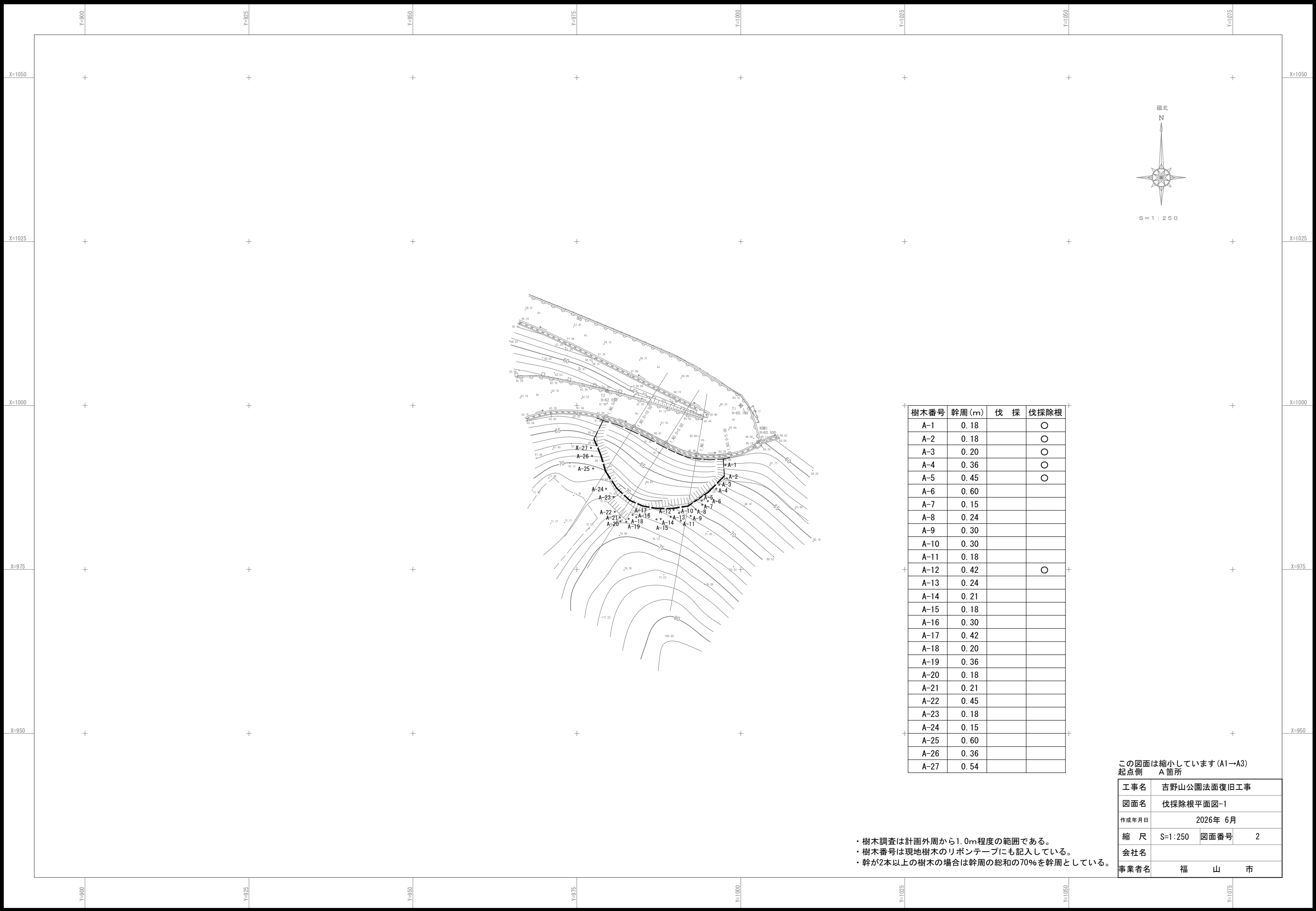
本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

図面番号	1	縮 尺	1:10,000
名 称			
工 事 名	吉野山公園法面復旧工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
設計年月	2026年 6月		
図面種別	位置図	番号	
福 山 市 公 園 緑 地 課			

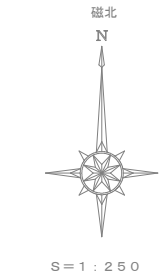
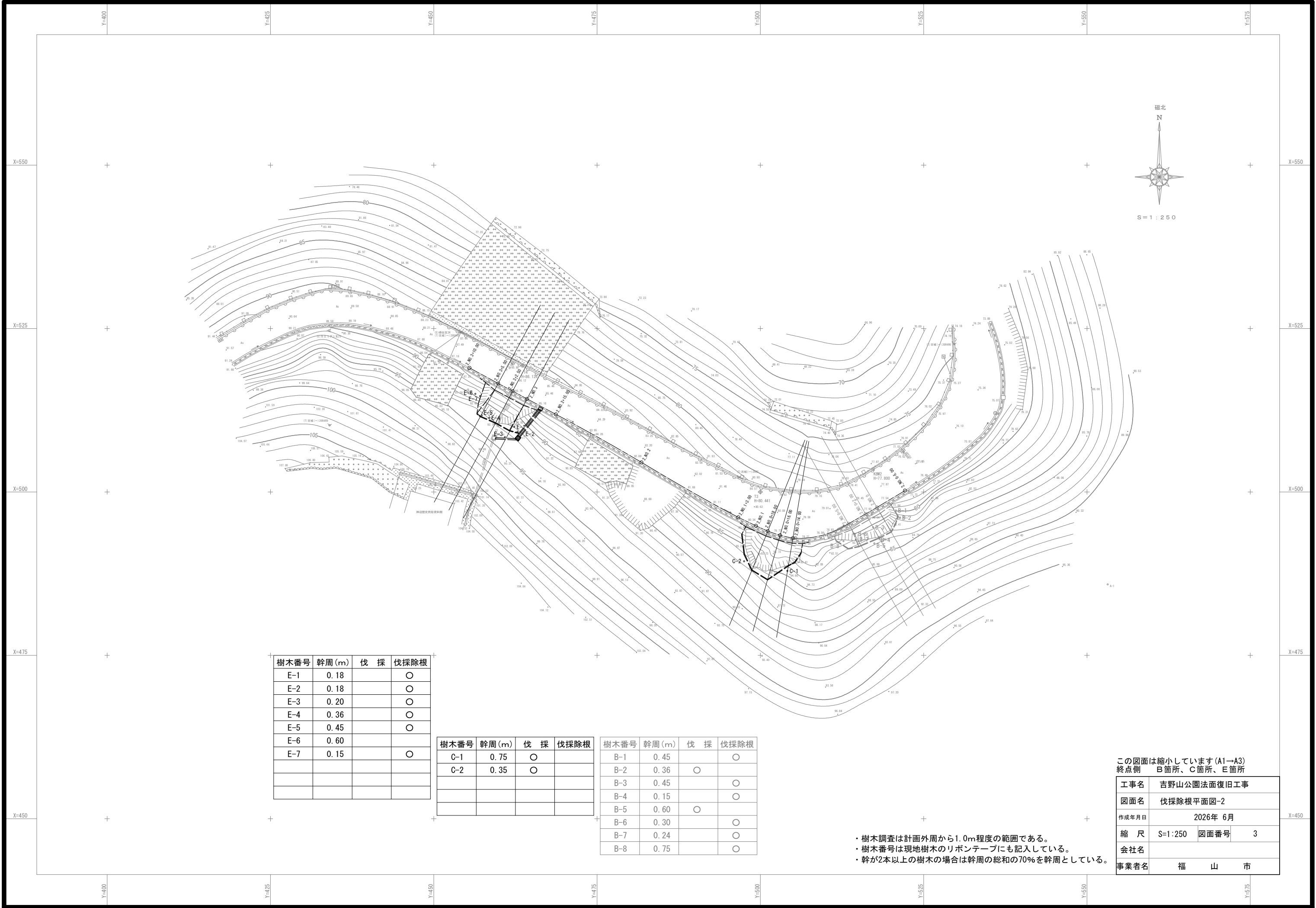




樹木番号	幹周(m)	伐	採	伐採除根
A-1	0.18			○
A-2	0.18			○
A-3	0.20			○
A-4	0.36			○
A-5	0.45			○
A-6	0.60			
A-7	0.15			
A-8	0.24			
A-9	0.30			
A-10	0.30			
A-11	0.18			
A-12	0.42			○
A-13	0.24			
A-14	0.21			
A-15	0.18			
A-16	0.30			
A-17	0.42			
A-18	0.20			
A-19	0.36			
A-20	0.18			
A-21	0.21			
A-22	0.45			
A-23	0.18			
A-24	0.15			
A-25	0.60			
A-26	0.36			
A-27	0.54			

- ・樹木調査は計画外周から1.0m程度の範囲である。
- ・樹木番号は現地樹木のリボンテープにも記入している。
- ・幹が2本以上の樹木の場合は幹周の総和の70%を幹周としている。

この図面は縮小しています(A1→A3) 起点側 A箇所			
工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	伐採除根平面図-1		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	2
会社名			
事業者名	福	山	市



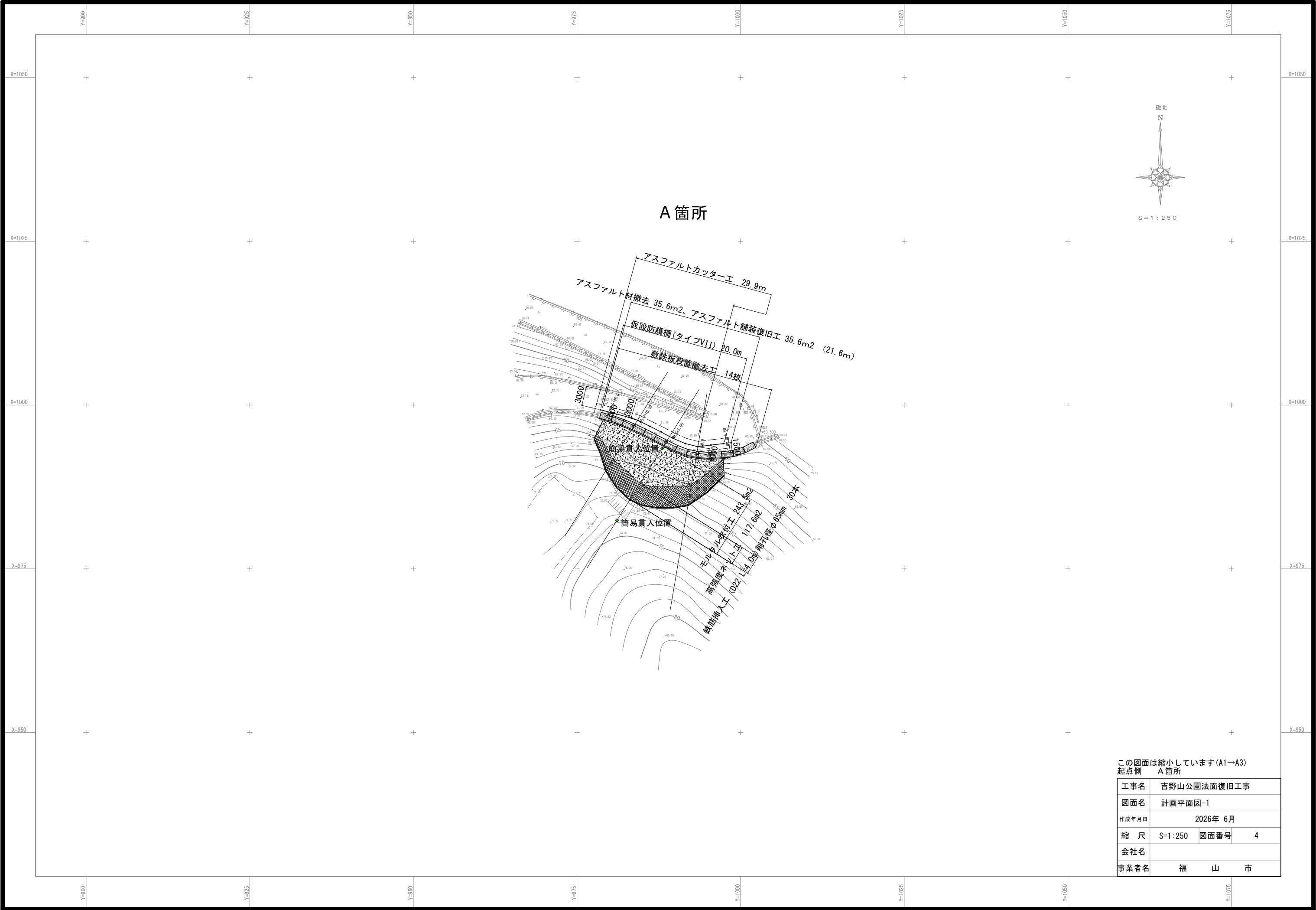
樹木番号	幹周(m)	伐 採	伐採除根
E-1	0.18		○
E-2	0.18		○
E-3	0.20		○
E-4	0.36		○
E-5	0.45		○
E-6	0.60		○
E-7	0.15		○

樹木番号	幹周(m)	伐 採	伐採除根
C-1	0.75	○	
C-2	0.35	○	

樹木番号	幹周(m)	伐 採	伐採除根
B-1	0.45		○
B-2	0.36	○	
B-3	0.45		○
B-4	0.15		○
B-5	0.60	○	
B-6	0.30		○
B-7	0.24		○
B-8	0.75		○

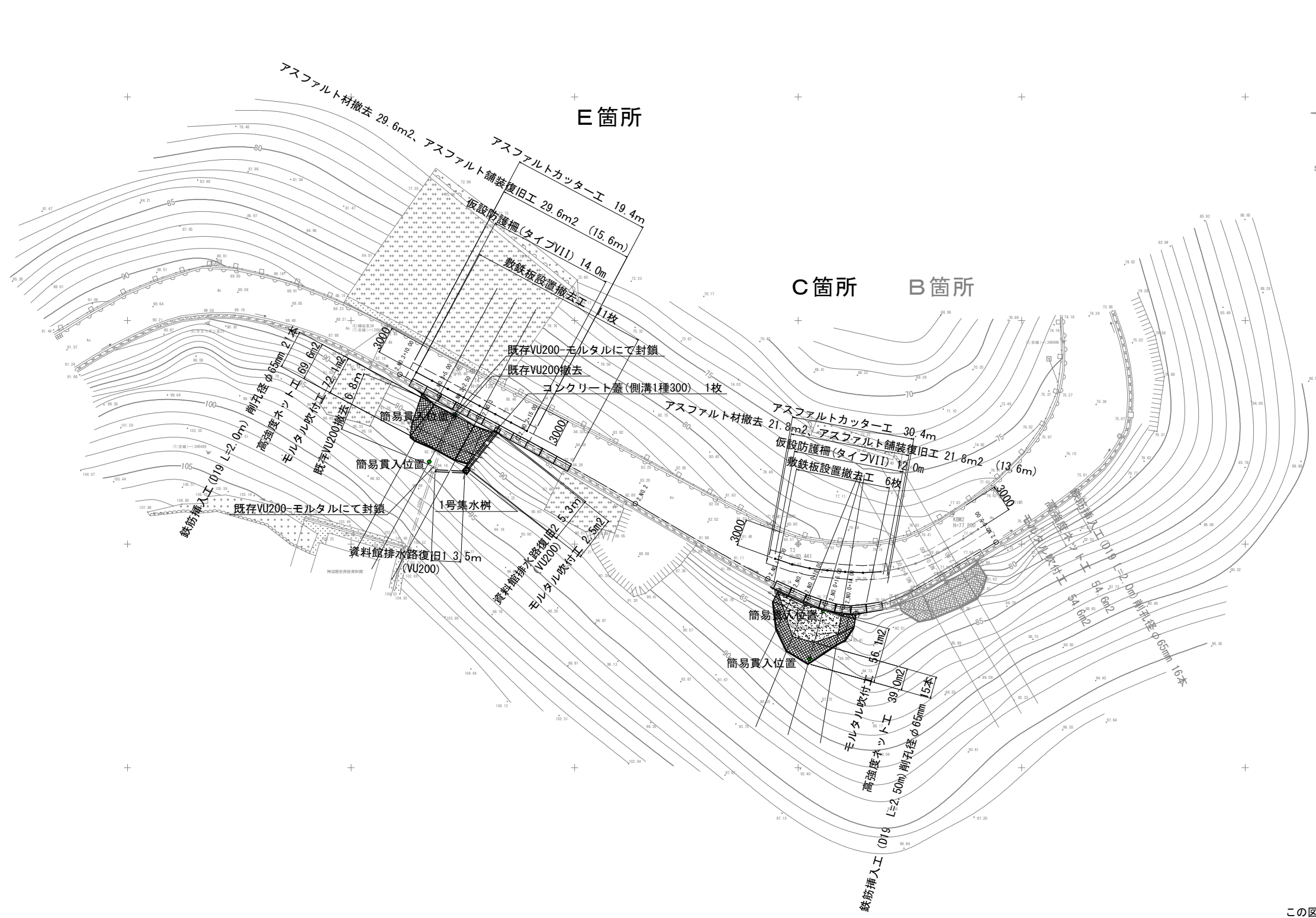
この図面は縮小しています(A1→A3) 終点側 B箇所、C箇所、E箇所			
工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	伐採除根平面図-2		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	3
会社名			
事業者名	福 山 市		

- ・ 樹木調査は計画外周から1.0m程度の範囲である。
- ・ 樹木番号は現地樹木のリボンテープにも記入している。
- ・ 幹が2本以上の樹木の場合は幹周の総和の70%を幹周としている。



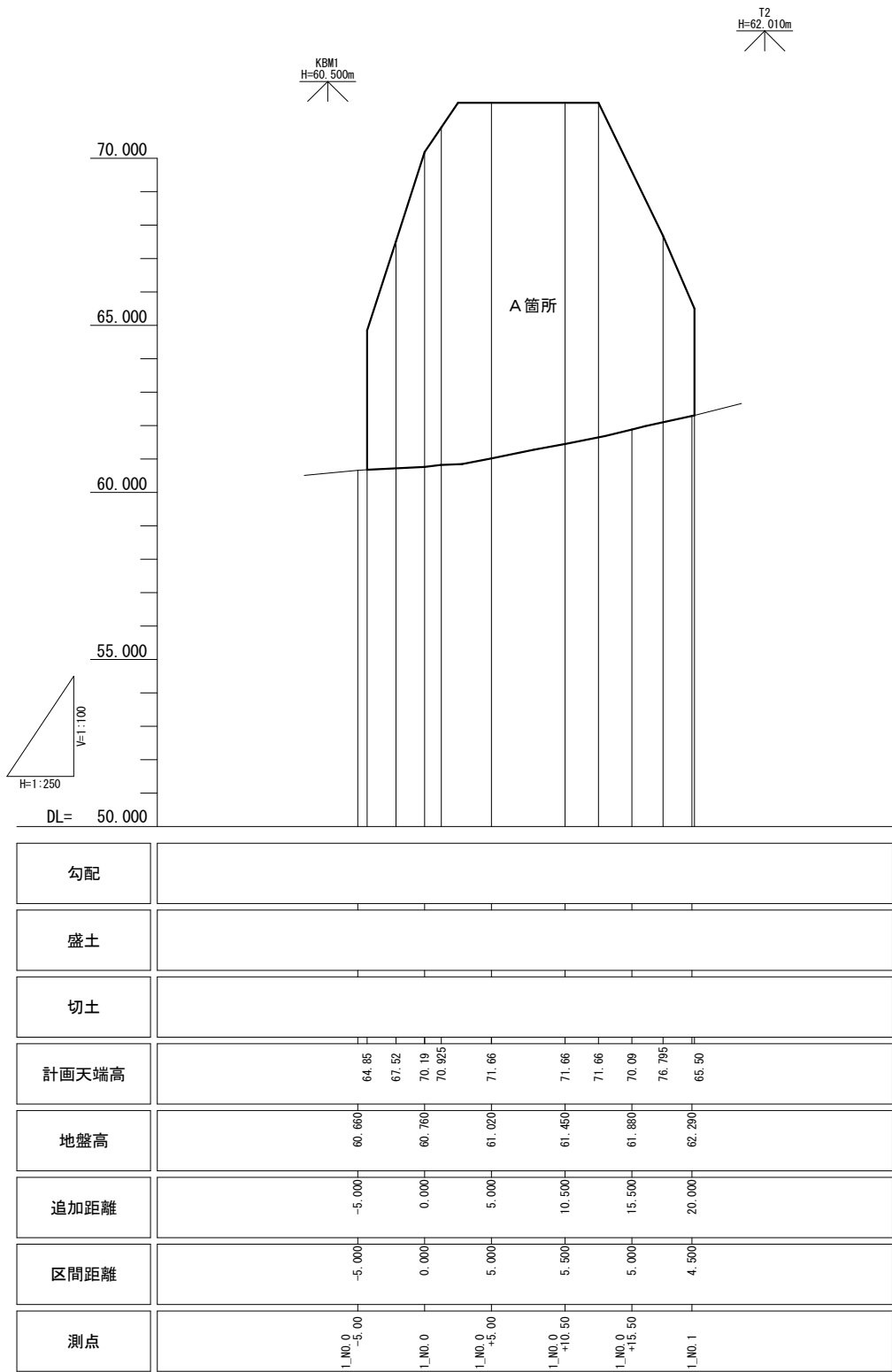
この図面は縮小しています (A1→A3)
起点側 A箇所

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	計画平面図-1		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	4
会社名			
事業者名	福 山 市		



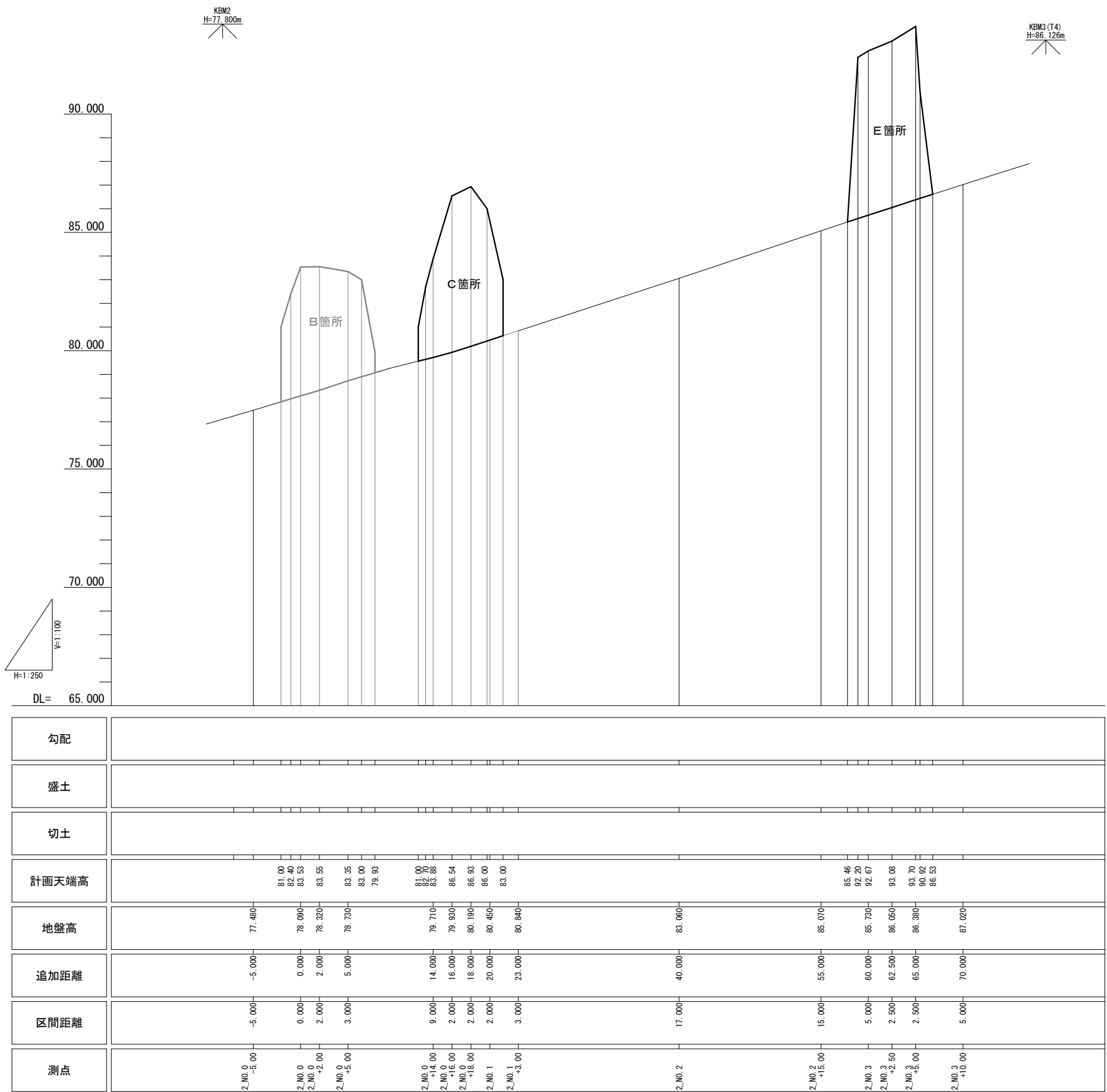
この図面は縮小しています (A1→A3)
終点側 B箇所、C箇所、E箇所

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	計画平面図-2		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	5
会社名			
事業者名	福 山 市		



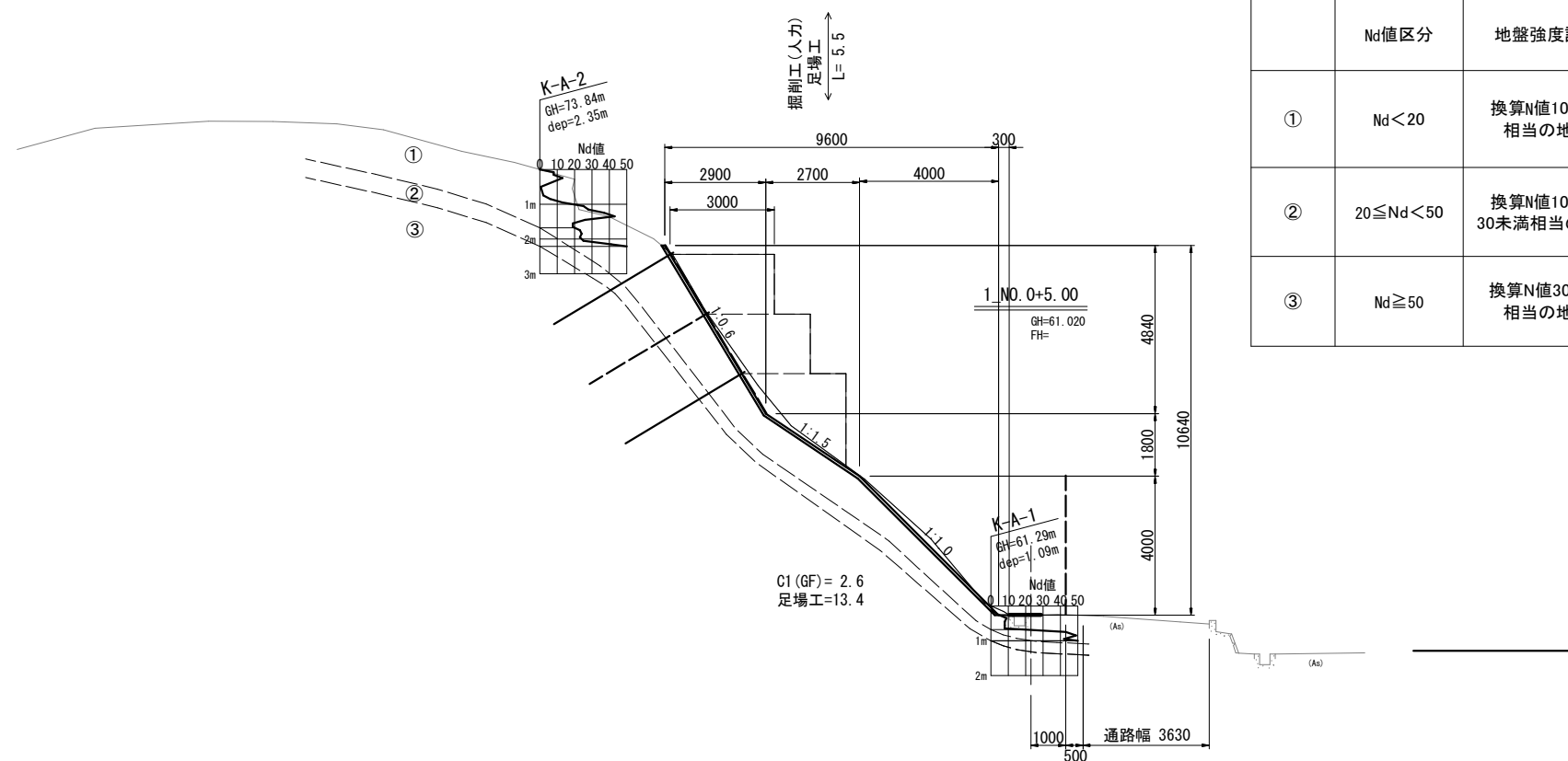
この図面は縮小しています (A1→A3)
起点側

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	縦断面図		
作成年月日	2026年 6月		
縮尺	V=1:100 H=1:250	図面番号	6
会社名			
事業者名	福	山	市

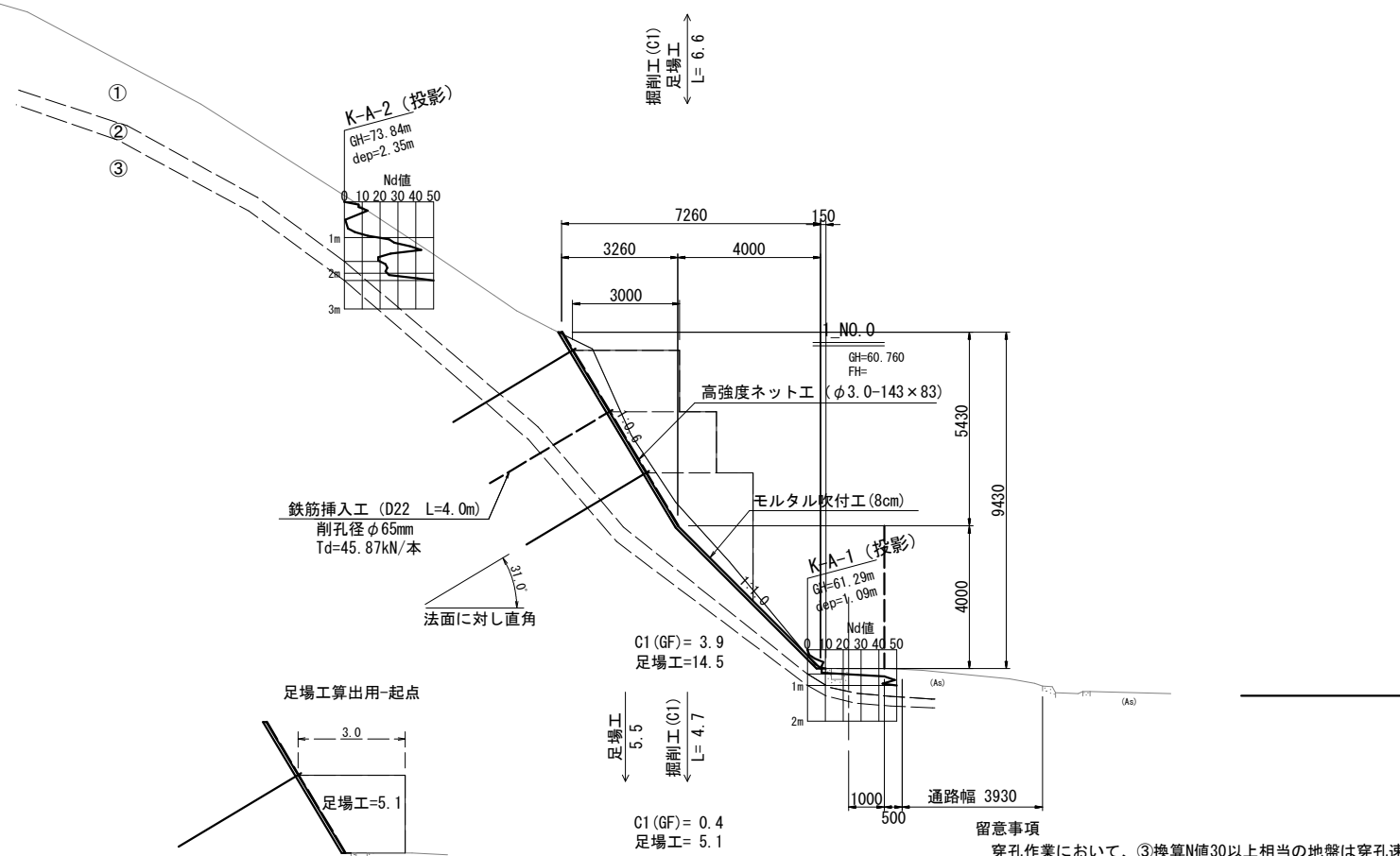


この図面は縮小しています (A1→A3)
終点側

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	縦断面図		
作成年月日	2026年 6月		
縮尺	V=1:100 H=1:250	図面番号	7
会社名			
事業者名	福山市		



	Nd値区分	地盤強度評価	地盤評価
①	$Nd < 20$	換算N値10未満 相当の地盤	・主に礫混じり土砂で構成される緩い崖錐堆積物や 軟弱な強風化岩起源の被覆土砂 ・急斜面上では不安定土砂層
②	$20 \leq Nd < 50$	換算N値10以上 30未満相当の地盤	・残留マサ状で自立する原位置の強風化岩 ・ハンマービックで崩れる程度の硬さと推定される ・ $20 \leq Nd$ が法枠工の主鉄筋の定着地盤の目安
③	$Nd \geq 50$	換算N値30以上 相当の地盤	・露岩で自立し急崖を形成できるが、Nd50程度では 岩芯まで風化進行している ・張コン、モルタル吹付等の基礎地盤の目安



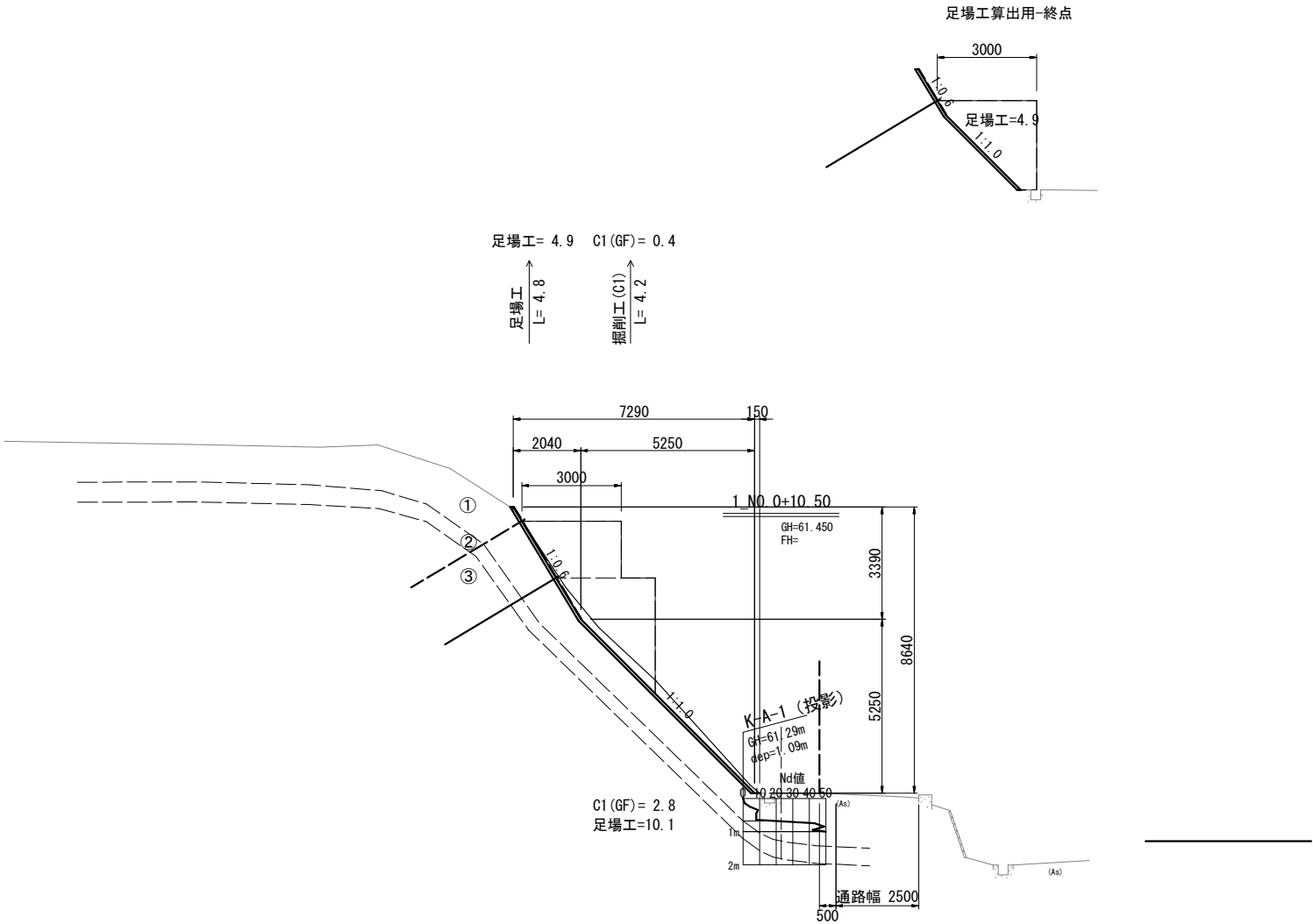
C1 (GF) : 礫質土
C2 (SR1) : 軟岩Ⅰ
C3 (SR2) : 軟岩Ⅱ

この図面は縮小しています (A1→A3)
A箇所

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	横断面図 (1/2)		
作成年月日	2026年 6月		
縮尺	S=1:100	図面番号	8
会社名			
事業者名	福 山 市		

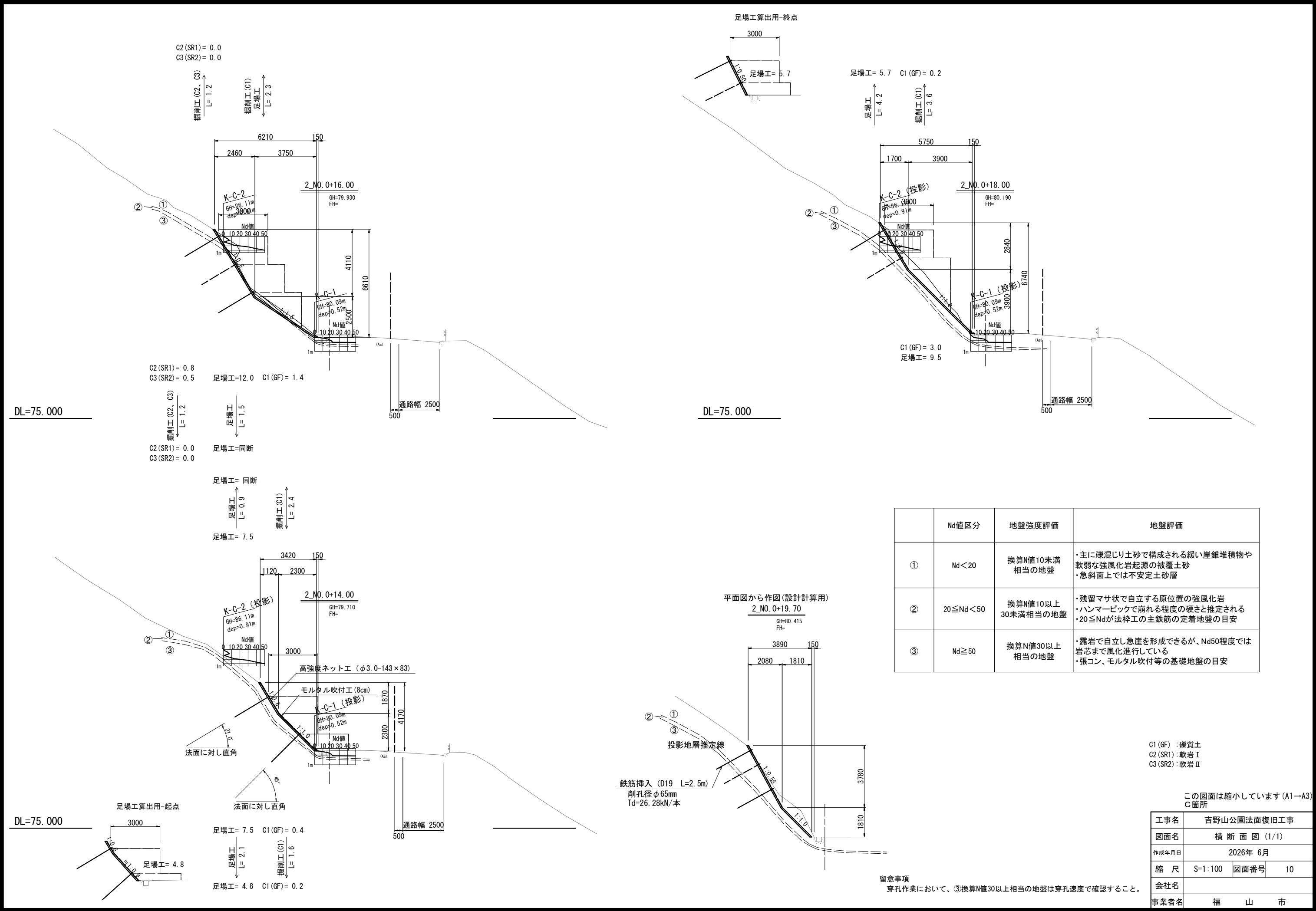
	Nd値区分	地盤強度評価	地盤評価
①	Nd<20	換算N値10未満 相当の地盤	・主に礫混じり土砂で構成される緩い崖錐堆積物や 軟弱な強風化岩起源の被覆土砂 ・急斜面上では不安定土砂層
②	20≦Nd<50	換算N値10以上 30未満相当の地盤	・残留マサ状で自立する原位置の強風化岩 ・ハンマーピックで崩れる程度の硬さと推定される ・20≦Ndが法枠工の主鉄筋の定着地盤の目安
③	Nd≧50	換算N値30以上 相当の地盤	・露岩で自立し急崖を形成できるが、Nd50程度では 岩芯まで風化進行している ・張コン、モルタル吹付等の基礎地盤の目安

DL=60.000

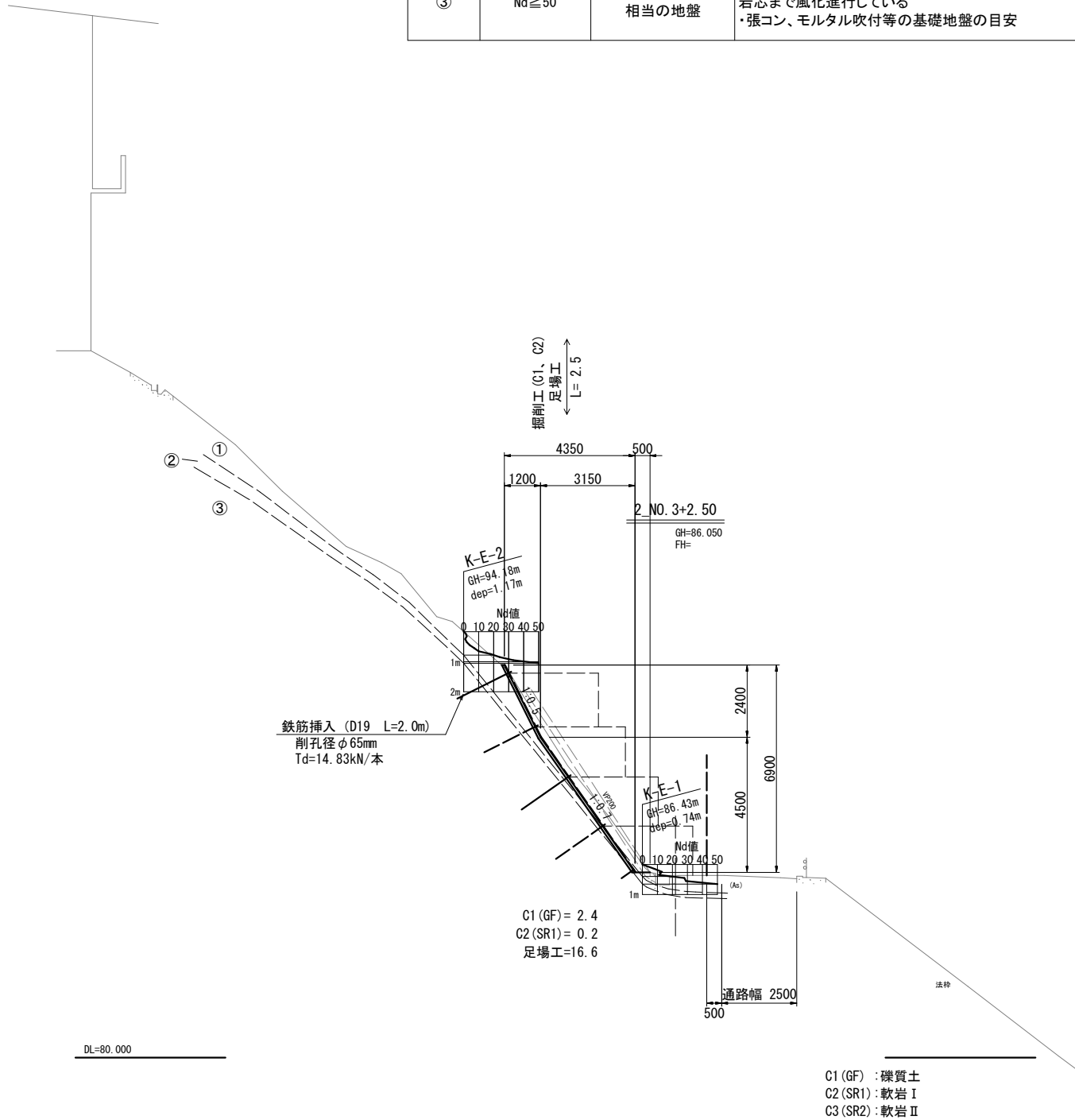
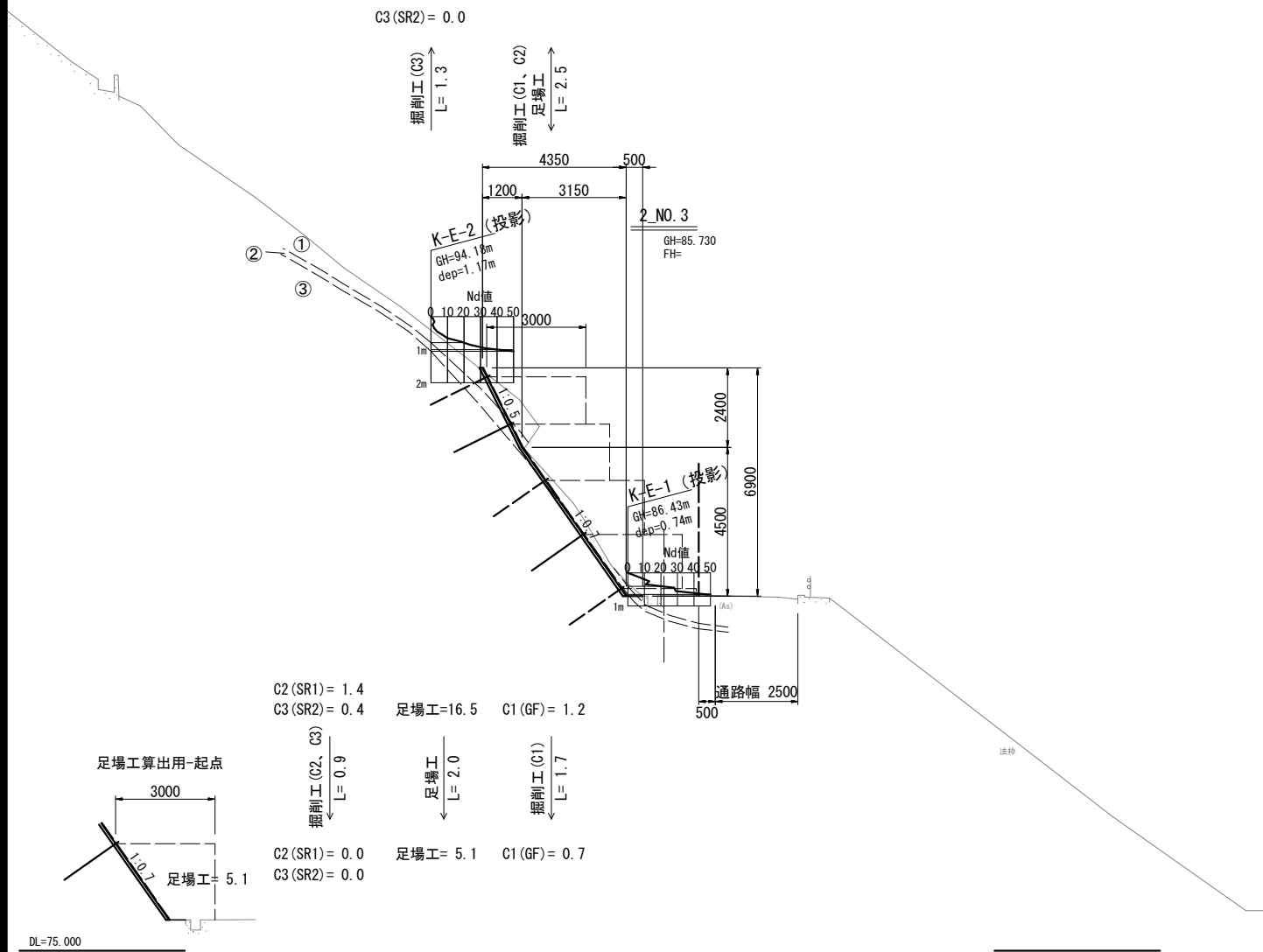


留意事項
穿孔作業において、③換算N値30以上相当の地盤は穿孔速度で確認すること。

この図面は縮小しています (A1→A3) A箇所			
工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	横断面図 (2/2)		
作成年月日	2026年 6月		
縮尺	S=1:100	図面番号	9
会社名			
事業者名	福	山	市



	Nd値区分	地盤強度評価	地盤評価
①	Nd<20	換算N値10未満 相当の地盤	・主に礫混じり土砂で構成される緩い崖錐堆積物や 軟弱な強風化岩起源の被覆土砂 ・急斜面上では不安定土砂層
②	20≦Nd<50	換算N値10以上 30未満相当の地盤	・残留マサ状で自立する原位置の強風化岩 ・ハンマーピックで崩れる程度の硬さと推定される ・20≦Ndが法枠工の主鉄筋の定着地盤の目安
③	Nd≧50	換算N値30以上 相当の地盤	・露岩で自立し急崖を形成できるが、Nd50程度では 岩芯まで風化進行している ・張コン、モルタル吹付等の基礎地盤の目安



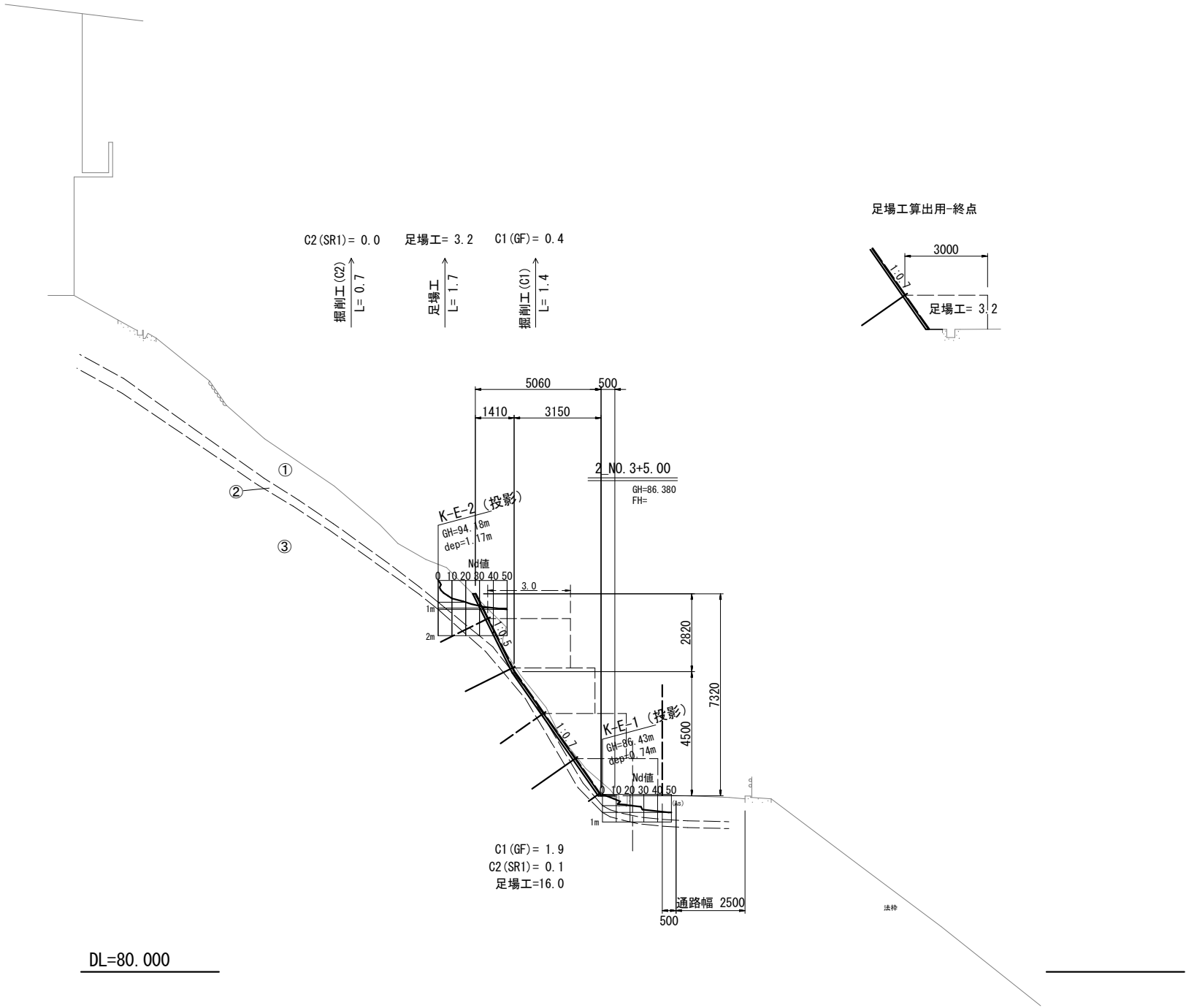
C1 (GF) : 礫質土
C2 (SR1) : 軟岩 I
C3 (SR2) : 軟岩 II

この図面は縮小しています (A1→A3)
E箇所

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	横断面図 (1/2)		
作成年月日	2026年 6月		
縮尺	S=1:100	図面番号	11
会社名			
事業者名	福	山	市

留意事項
穿孔作業において、③換算N値30以上相当の地盤は穿孔速度で確認すること。

	Nd値区分	地盤強度評価	地盤評価
①	Nd<20	換算N値10未満 相当の地盤	・主に礫混じり土砂で構成される緩い崖錐堆積物や 軟弱な強風化岩起源の被覆土砂 ・急斜面上では不安定土砂層
②	20≦Nd<50	換算N値10以上 30未満相当の地盤	・残留マサ状で自立する原位置の強風化岩 ・ハンマーピックで崩れる程度の硬さと推定される ・20≦Ndが法枠工の主鉄筋の定着地盤の目安
③	Nd≧50	換算N値30以上 相当の地盤	・露岩で自立し急崖を形成できるが、Nd50程度では 岩芯まで風化進行している ・張コン、モルタル吹付等の基礎地盤の目安



この図面は縮小しています (A1→A3)
E箇所

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	横断面図 (2/2)		
作成年月日	2026年 6月		
縮尺	S=1:100	図面番号	12
会社名			
事業者名	福	山	市

留意事項
穿孔作業において、③換算N値30以上相当の地盤は穿孔速度で確認すること。

上段：モルタル吹付工

中段：モルタル吹付工

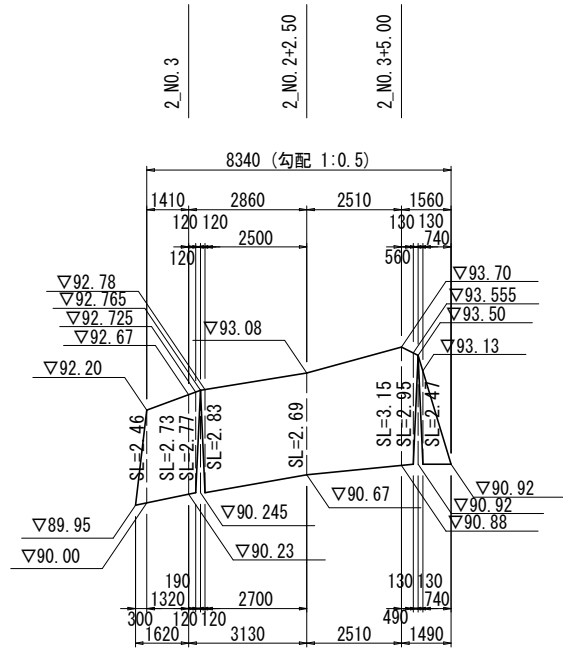
下段：モルタル吹付工

上段：高強度ネット工＋鉄筋挿入工

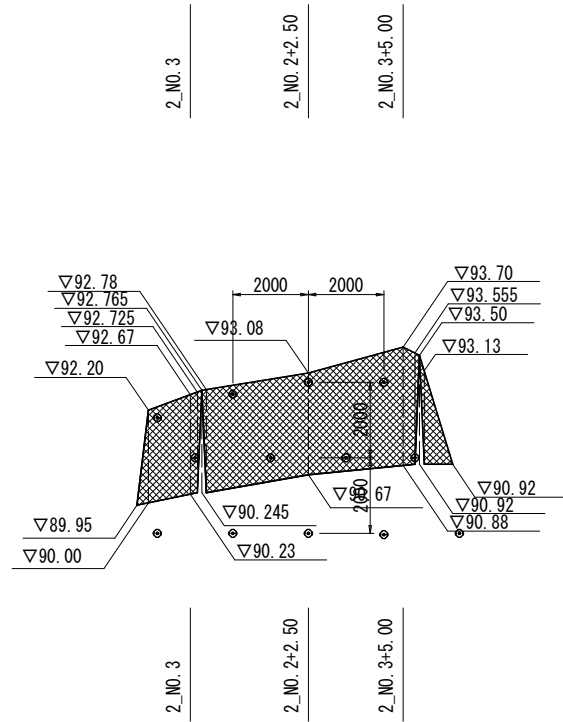
この図面は縮小しています (A1→A3)			
工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	展開図 (A箇所)		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	S=1:100	図面番号	13
会社名			
事業者名	福	山	市

注意：A箇所は曲面施工のため、展開図中の寸法はすべて平均寸法である。

上段：モルタル吹付工

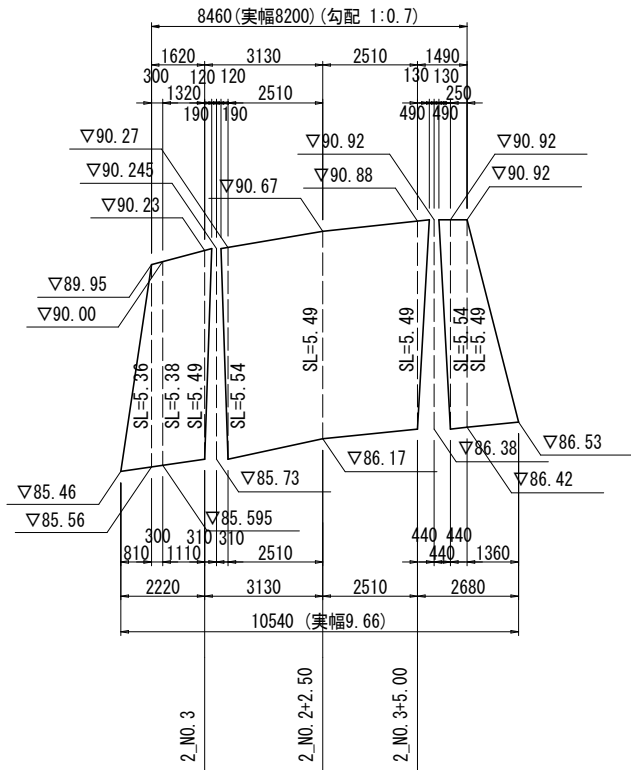


上段：高強度ネット工＋鉄筋挿入工



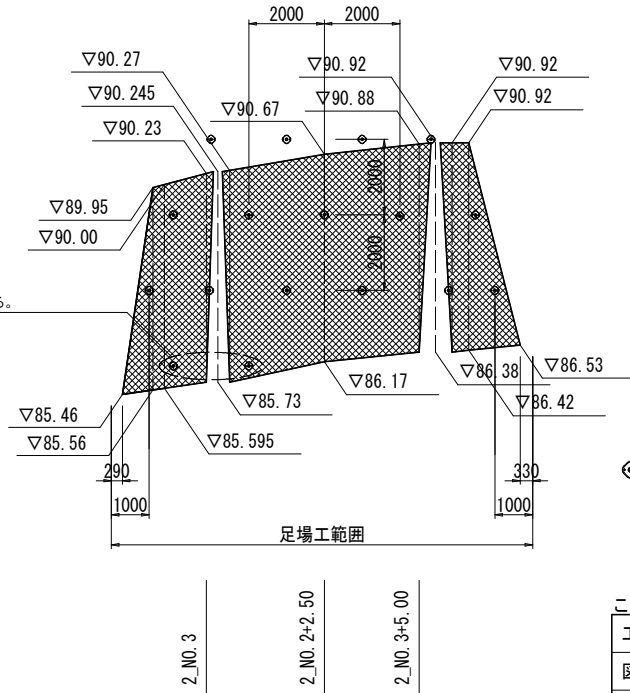
⊙ 鉄筋挿入 (D19 L=2.0m) N=21本
(上段8本、下段13本)

下段：モルタル吹付工



下段：高強度ネット工＋鉄筋挿入工

この最下段の2本は足場工幅3.0mは確保できないが、
広島県の旧数量算出要領での足場工幅は2.0m標準で
あったことを鑑み、全箇所現場条件はIIを採用する。



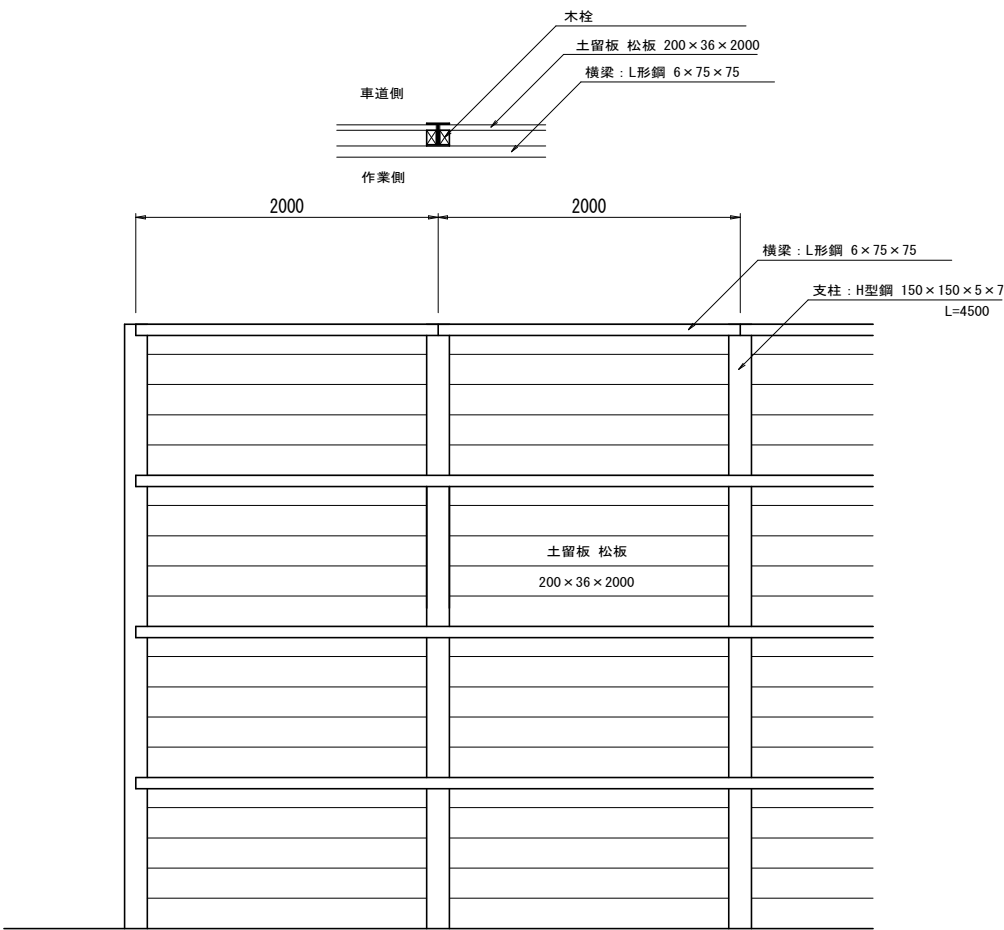
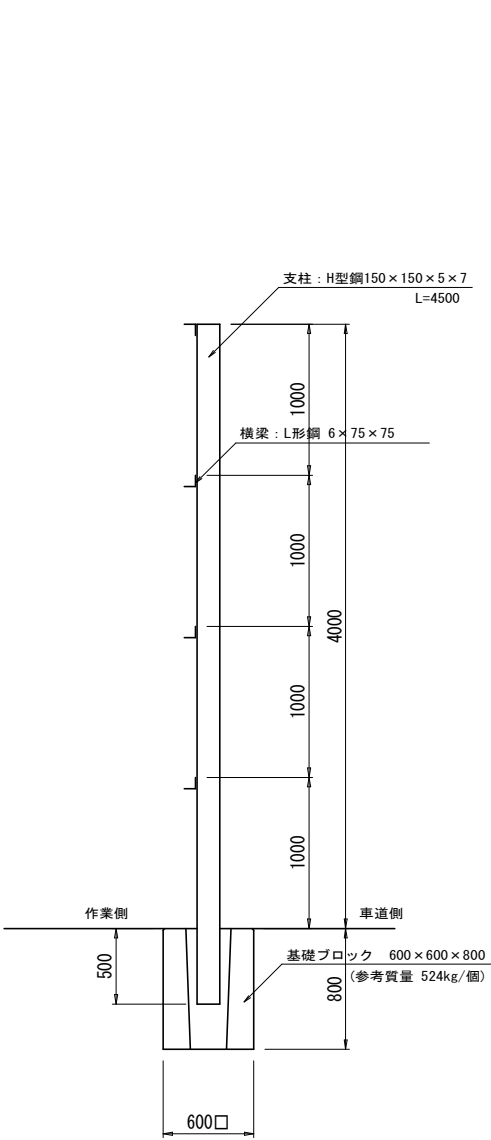
⊙ 鉄筋挿入 (D19 L=2.0m) N=21本
(上段8本、下段13本)

注意：E箇所の起点部・終点部は末広な計画のため、展開図中の寸法はすべて平均寸法である。

この図面は縮小しています (A1→A3)			
工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	展開図 (E箇所)		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	S=1:100	図面番号	15
会社名			
事業者名	福 山 市		

仮設防護柵 タイプVII (H=4.00m)

S=1:25

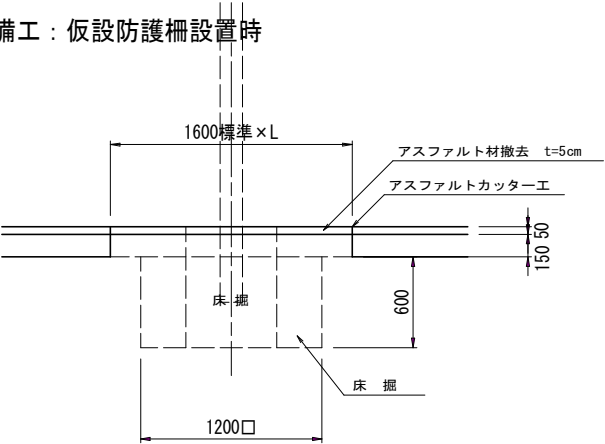


注意: 本工事中の道路(場内通路)開放を考慮する必要があるため、急傾斜地技術指針(広島県砂防課)P.231のタイプVIIを採用する。
タイプVIIは「人家との間に余裕がなく、比較的急傾斜で小崩落の予想される土質」の場合に採用するタイプである。

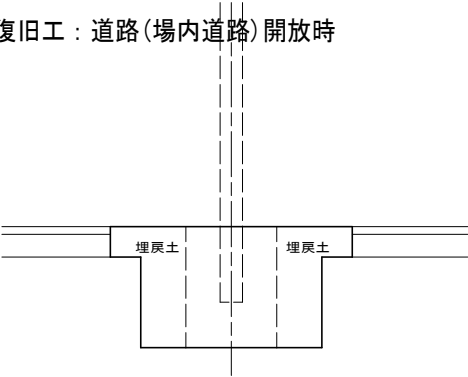
アスファルト材撤去、アスファルト舗装復旧工事

S=1:25

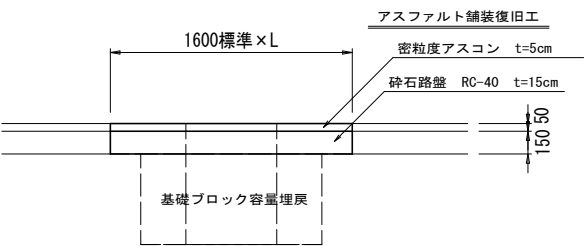
準備工: 仮設防護柵設置時



仮復旧工: 道路(場内道路)開放時



復旧工: 仮設防護柵撤去後

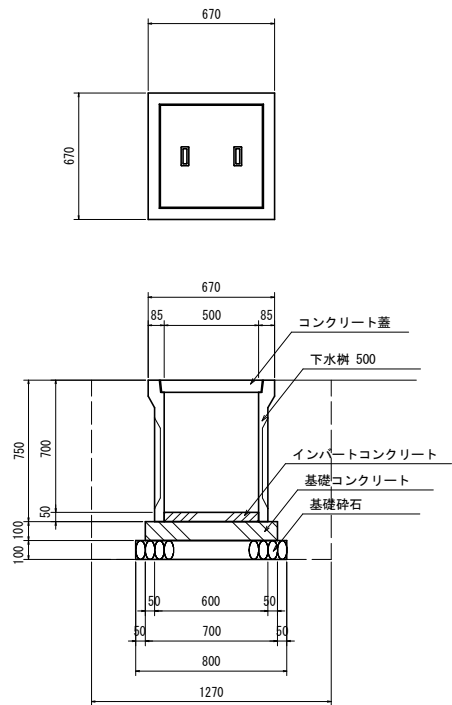


この図面は縮小しています(A1→A3)

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	構造図 仮設工(参考図)		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	図 示	図面番号	16
会社名			
事業者名	福 山 市		

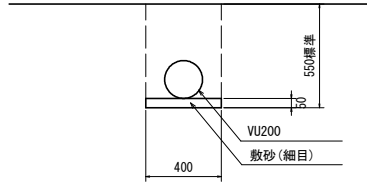
1号集水樹(法肩・小段等)

(CB-S500) S=1:20



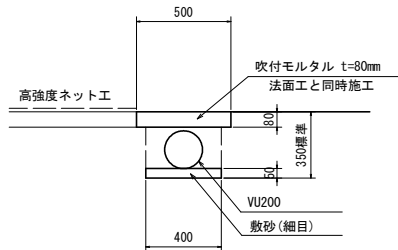
資料館排水路復旧1

S=1:20



資料館排水路復旧2

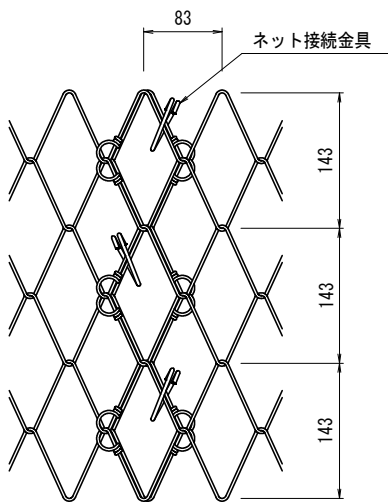
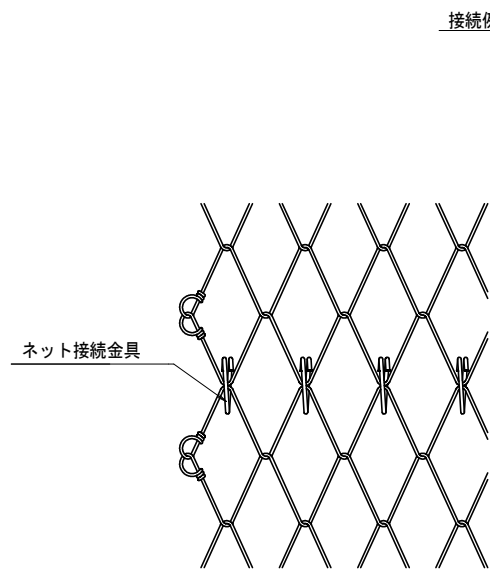
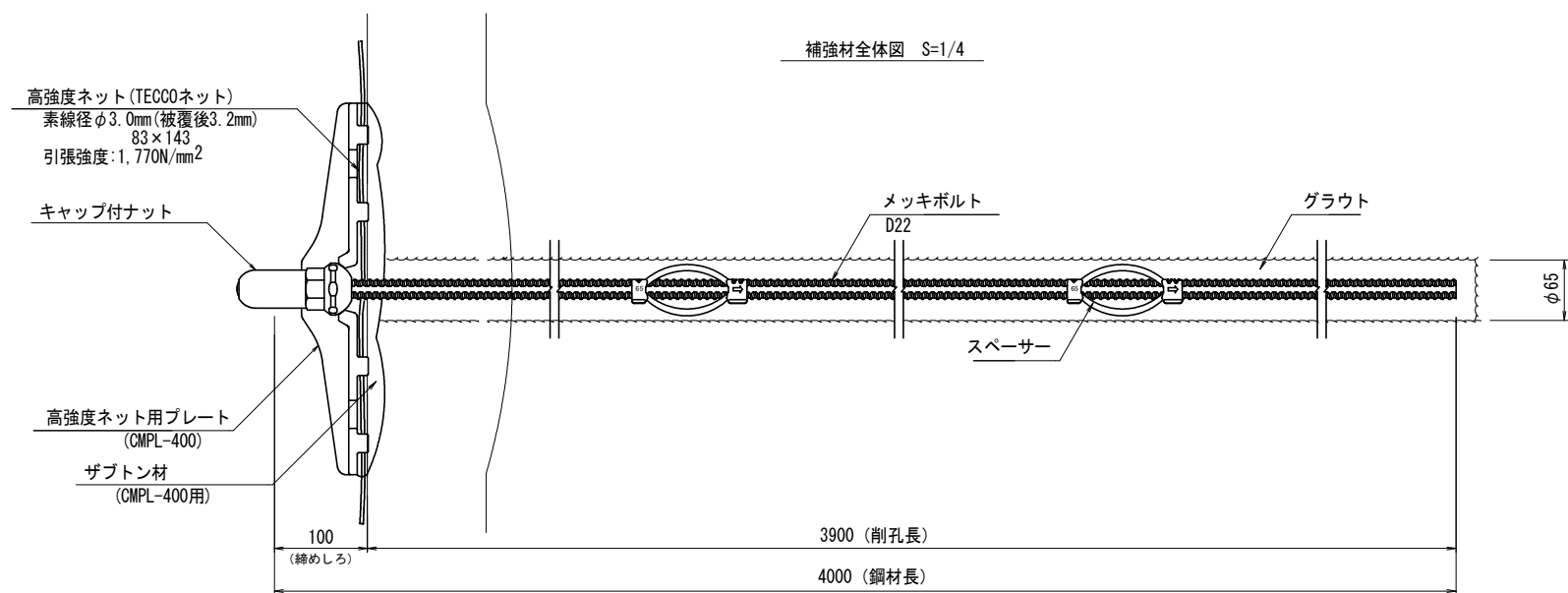
S=1:20



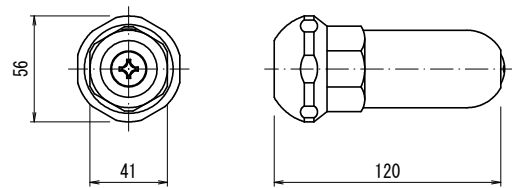
この図面は縮小しています (A1→A3)

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	構造図 排水工		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	図 示	図面番号	17
会社名			
事業者名	福	山	市

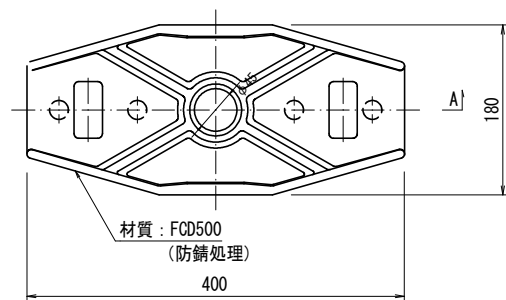
高強度ネット 構造図 (D22)
(A箇所)



キャップ付ナット S=1/2
(D22用)

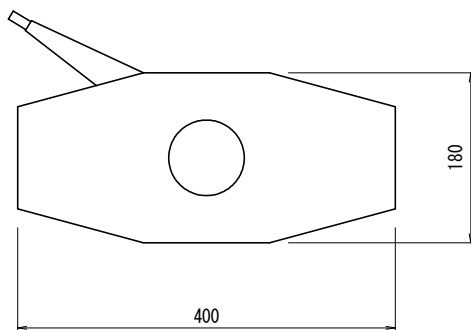


高強度ネット用プレート S=1/4
(CMPL-400)



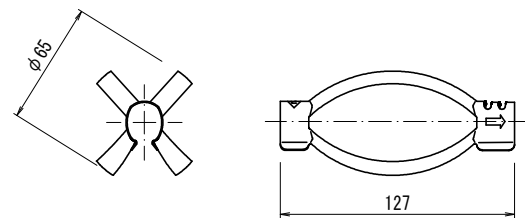
ざぶとん材 S=1/4
(CMPL-400用)

材質: ポリプロピレン
ヤシの実繊維
ビニールホース

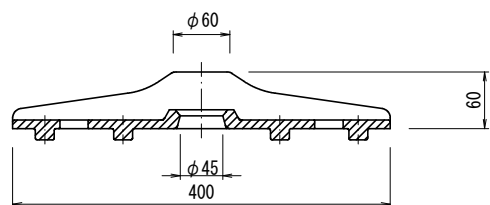


※外袋の材質は、ポリプロピレン

スペーサー-D22-65 S=1/2
(電気メッキ)



A-A断面図

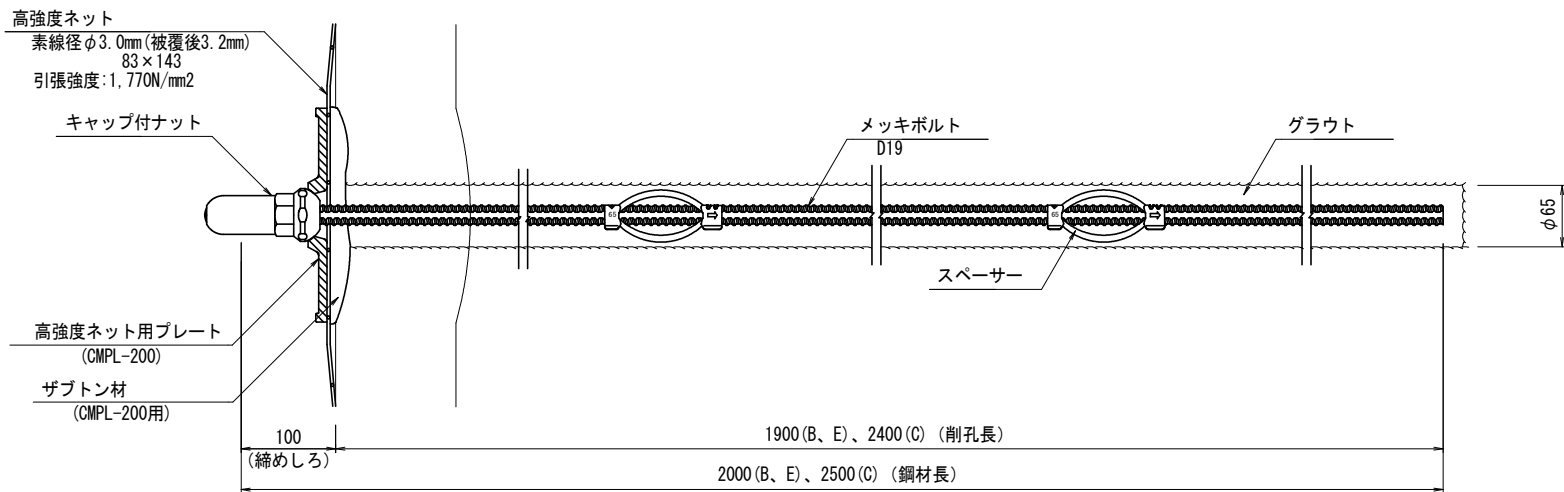


この図面は縮小しています (A1→A3)

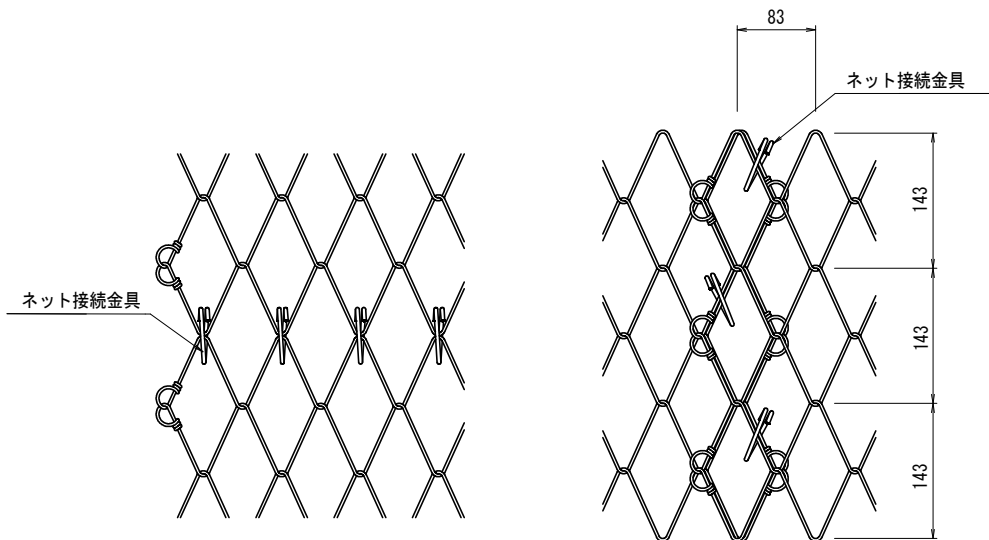
工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	構造図 高強度ネット工 (D22)		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	図 示	図面番号	18
会社名			
事業者名	福	山	市

高強度ネット 構造図 (D19)
(B、C、E箇所)

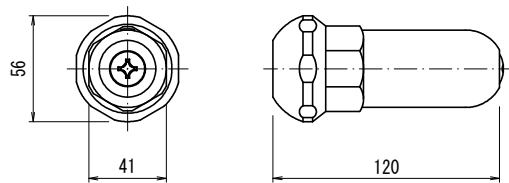
補強材全体図 S=1/4



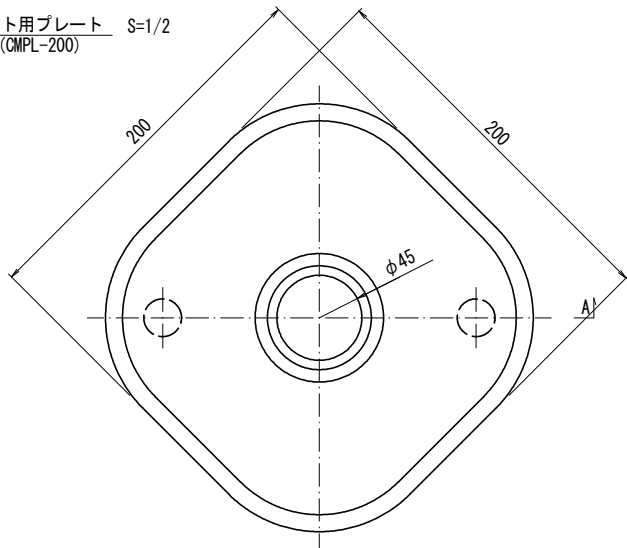
接続例 S=1/4



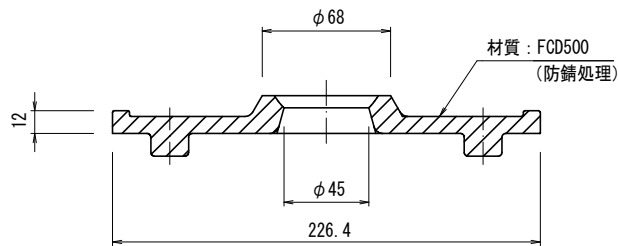
キャップ付ナット S=1/2
(D19用)



高強度ネット用プレート S=1/2
(CMPL-200)

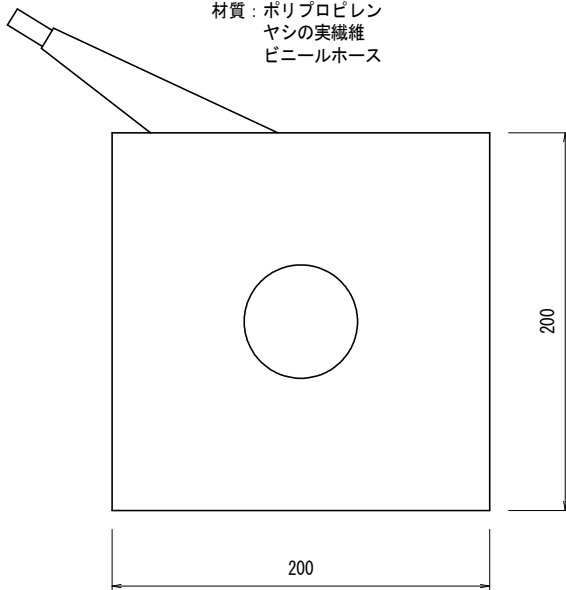


A-A断面図



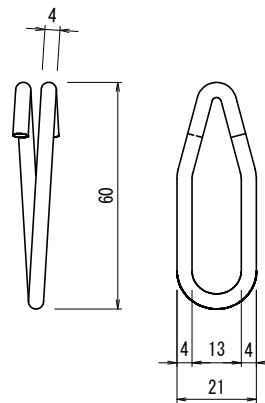
ざぶとん材 S=1/2
(CMPL-200用)

材質: ポリプロピレン
ヤシの実繊維
ビニールホース

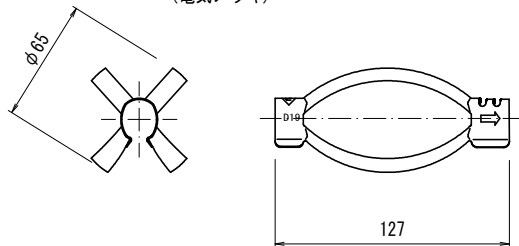


※外袋の材質は、ポリプロピレン

ネット接続金具 S=1/1



スパーサーD19-65 S=1/2
(電気メッキ)



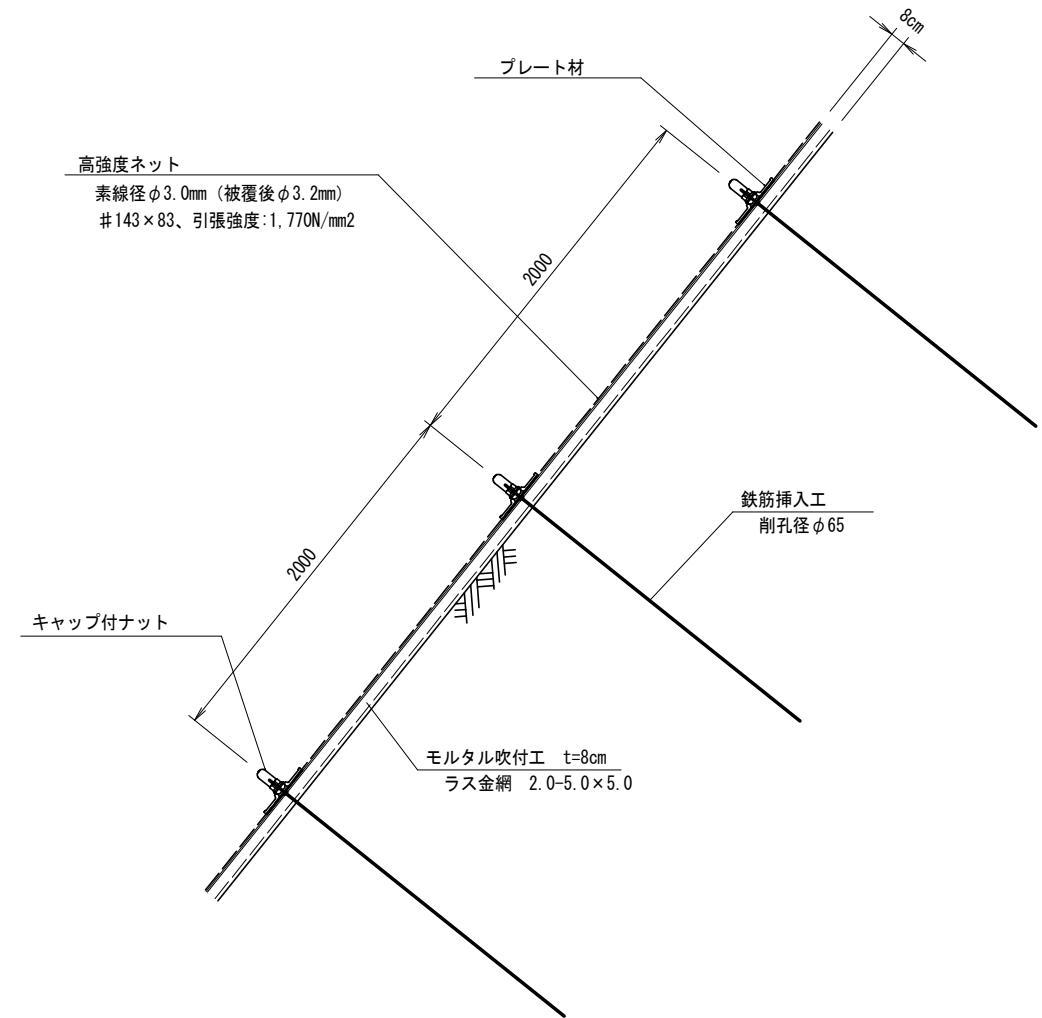
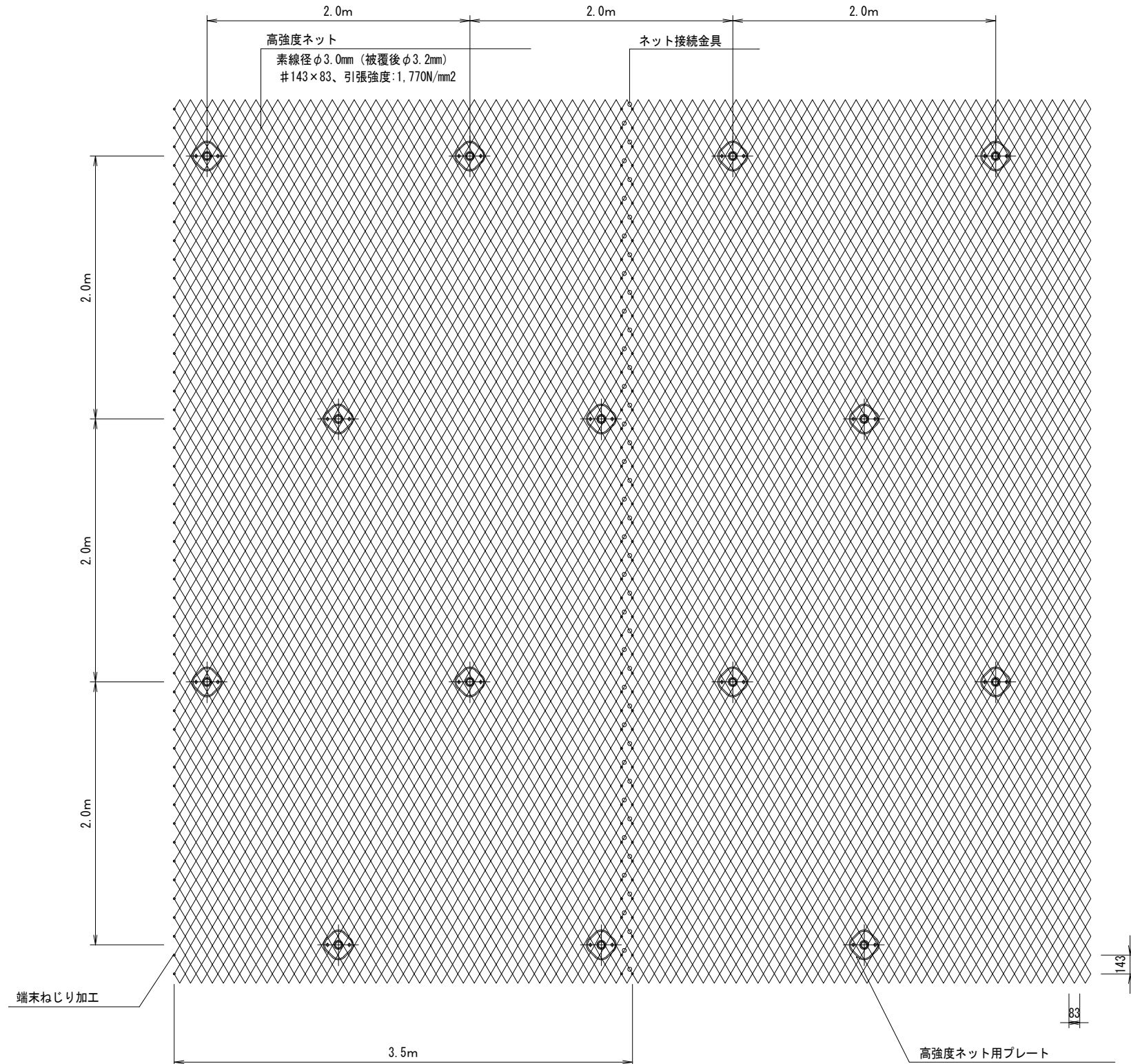
この図面は縮小しています (A1→A3)

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	構造図 高強度ネット工 (D19)		
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	図 示	図面番号	19
会社名			
事業者名	福	山	市

高強度ネット工 施工図

S=1:20

正面図



この図面は縮小しています (A1→A3)

工事名	吉野山公園法面復旧工事		
図面名	構造図	高強度ネット施工図	
作成年月日	2026年 6月		
縮 尺	図 示	図面番号	20
会社名			
事業者名	福	山	市

参考図書

施工単価表

頁0 -0013

人力切崩し

VJKK00001

單第0 -0001 表

10

m3

当り

粘性土・砂・砂質土・礫質土

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

人力切崩し
軟岩Ⅰ・軟岩Ⅱ

VJKK00002

單第0 -0002 表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

積込(ルーズ)
土砂
機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040007
小規模(標準以外)

単第0 -0003 表
標準単価: 1
m3 当り
1,827.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 小規模(標準以外)		

施工単価表

頁0 -0016

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)

単第0 -0004 表
1
標準単価: 4,319.40000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=31 距離7.0km以下(5.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0005 表

1
標準単価: m3 当り
2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0018

床掘り

SPK25040015

單第0 -0006 表

土砂 現場制約あり

1

m3 当り

機械構成比:	0.00%	勞務構成比:	100.00%	材料構成比:	0.00%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	10,668.00000
--------	-------	--------	---------	--------	-------	----------	-------	-------	--------------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

埋戻し
土砂

SPK25040020
上記以外(小規模)

単第0 -0007 表

1
標準単価:

m3 当り
4,063.80000

機械構成比: 8.87%

労務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0020

埋戻し
土砂

SPK25040020

單第0 -0007 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

勞務構成比：

87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

4,063.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

埋戻し
土砂
機械構成比: 0.25%
労務構成比: 99.40%
材料構成比: 0.35%
市場単価構成比: 0.00%

SPK25040020
現場制約あり 締固め有り

単第0 -0008 表

1
標準単価: 7,754.20000

m3 当り
7,754.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.25%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	88.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.35%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=6 C=1 現場制約あり 締固め有り			B=1 D=1 土砂 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0022

モルタル吹付工

SS000267

單第0 -0009 表

厚8cm

[規]250m²以上500m²未満

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

のり面整形工
人力

VJNS00001

單第0 -0010 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

鉄筋挿入工 現場条件II

SS000259

單第0 -0011 表

[規]100m以上200m未満

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

グラウト注入材

SSL00259

單第0 -0012 表

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

鉄筋挿入工 現場条件II

SS000259

單第0 -0013 表

[規]100m以上200m未満

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

鉄筋挿入工 現場条件II

SS000259

單第0 -0014 表

[規]100m以上200m未満

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

削孔機械の上下移動

SS000261

單第0 -0015 表

1

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

仮設足場の設置・撤去

SS000263

單第0 -0016 表

空_m3 当り[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

鉄筋挿入工（材料）

VTSZ00001

單第0 -0017 表

1 式 当

[illegible]

施工単価表

鉄筋挿入工（材料）

VTSZ00001A

単第0 -0018 表

A箇所	名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
	メッキネジ節異形棒鋼 D19 L=2.0m	0	本			
	メッキネジ節異形棒鋼 D19 L=2.5m	0	本			
	メッキネジ節異形棒鋼 D22 L=4.0m	30	本			
	スパーサー D19-65	0	個			
	スパーサー D22-65	60	個			
	キャップ付ナット D19用	0	個			
	キャップ付ナット D22用	30	個			
	高強度ネット用プレート CMPL-200	0	枚			
	高強度ネット用プレート CMPL-400	30	枚			
	減水剤 シーカセムFLC400	6.7	L			
	*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

鉄筋挿入工（材料）
C箇所

VTSZ00001C

単第0 -0019 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
メッキネジ節異形棒鋼 D19 L=2.0m	0	本			
メッキネジ節異形棒鋼 D19 L=2.5m	15	本			
メッキネジ節異形棒鋼 D22 L=4.0m	0	本			
スペーサー D19-65	30	個			
スペーサー D22-65	0	個			
キャップ付ナット D19用	15	個			
キャップ付ナット D22用	0	個			
高強度ネット用プレート CMPL-200	15	枚			
高強度ネット用プレート CMPL-400	0	枚			
減水剤 シーカセムFLC400	2.1	L			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

鉄筋挿入工（材料）

VTSZ00001E

単第0 -0020 表

箇所	名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
	メッキネジ節異形棒鋼 D19 L=2.0m	21	本			
	メッキネジ節異形棒鋼 D19 L=2.5m	0	本			
	メッキネジ節異形棒鋼 D22 L=4.0m	0	本			
	スパーサー D19-65	42	個			
	スパーサー D22-65	0	個			
	キャップ付ナット D19用	21	個			
	キャップ付ナット D22用	0	個			
	高強度ネット用プレート CMPL-200	21	枚			
	高強度ネット用プレート CMPL-400	0	枚			
	減水剤 シーカセムFLC400	2.3	L			
	*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0034

高強度ネット張工 人力 Case3

VKNH00001

單第0 -0021 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

ざぶとん材設置工
CMPL-200用

VHDZ00001

單第0 -0022 表

100個未満

100

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

ざぶとん材設置工
CMPL-400用

VHDZ00002

單第0 -0023 表

100

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

高強度ネット張工（材料）

VKNHZ00001

單第0 -0024 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

高強度ネット張工（材料）

VKNHZ00001A

單第0 -0025 表

1

式 当り

A箇所

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

高強度ネット張工（材料）

VKNHZ00001C

單第0 -0026 表

式 当り

C箇所

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

高強度ネット張工（材料）

VKNHZ00001E

單第0 -0027 表

1

式 当り

E箇所

[illegible]

施工単価表

暗渠排水管

SPK25040093

単第0 -0028 表

撤去 直管 200～400mm

1 m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 416.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	70.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	29.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 撤去 C=2 200～400mm			B=1 直管 I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

モルタル練
高炉
機械構成比:

SPK25040158

単第0 -0029 表

1
標準単価: 102,720.00000
m3 当り

0.00% 労務構成比: 82.04% 材料構成比: 17.96% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

1号集水桝設置工

VSPK002951

単第0 -0030 表

1 基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
プレキャスト集水桝 据付 基礎碎石有り 製品質量(kg/基)80kgを超え200kg以下	1	基			単第0-0031 表
蓋版 材料別途 40<重量≤170	1	枚			単第0-0032 表
下水桝(本体) 呼び名500 参考質量158kg	1	基			
下水桝(蓋) 呼び名500 参考質量42kg	1	枚			
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.28	m2			単第0-0033 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.05	m3			単第0-0034 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.02	m3			単第0-0034 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工単価表

頁0 -0044

プレキャスト集水桝

SPK25040096

単第0 -0031 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)80kgを超え200kg以下

1

基 当り

機械構成比: 15.14%

労務構成比:

80.75%

材料構成比:

4.11%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

4,360.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.21%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	46.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	11.06%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.32%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0045

プレキャスト集水桝

SPK25040096

單第0 -0031 表

据付 基礎碎石有り

製品質量(kg/基)80kgを超え200kg以下

1

基 当り

機械構成比: 15.14%

勞務構成比:

80.75%

材料構成比: 4.11%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

4,360.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0046

蓋版

SDT00017

單第0 -0032 表

材料別途 40<重量≤170

枚 当り

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
均しコンクリート

単第0 -0033 表

1
標準単価:

m2 当り
5,104.70000

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.78%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

コンクリート

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

機械構成比: 0.00%

SPK25040157

人力打設

労務構成比: 36.06%

材料構成比: 63.94%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0034 表

1

標準単価:

m3

当り

34,148.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	63.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

頁0 -0049

排水路復旧1

VHF00001

單第0 -0035 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

暗渠排水管

据付 直管 200～400mm

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

SPK25040093
硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径200mm

16.42% 材料構成比: 83.58%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0036 表

1
標準単価:

m 当り
5,064.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	11.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径200(216×6.5)	83.58%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0405 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200～400mm G=1 -			B=1 直管 D=66 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径200mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0051

排水路復旧2

VHF00002

單第0 -0037 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

蓋版

SDT00017

單第0 -0038 表

1種普通ふた(JIS_A_5372)

$$300[400 \times 60 \times 600]$$

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0039 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0054

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0039 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0040 表

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747.00000 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0056

仮設防護柵工
タイプⅦ H4.0m

VSHD20017

單第0 -0041 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

仮設防護柵工
H型鋼 15×15×0.7×600

SHD20017

単第0 -0042 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主柱 材料損料率20%	0.933	t			単第0-0043 表
規格エキストラ 材料損料率20%	0.933	t			単第0-0044 表
横梁 材料損料率20%	0.274	t			単第0-0045 表
土留板 材料損料率70%	1.440	m3			単第0-0046 表
雑材料	10	%			#06
とび工	5.300	人			
普通作業員	8.900	人			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=7 7_4.0m			B=2 6ヶ月未満		

施工単価表

頁0 -0058

主柱
材料損料率20%

SHD20023

單第0 -0043 表

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0059

規格エキストラ

SHD20023

單第0 -0044 表

材料損料率20%

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0060

横梁
材料損料率20%

SHD20023

單第0 -0045 表

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0061

土留板
材料損料率70%

SHD20023

單第0 -0046 表

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0062

仮設防護柵基礎製作・設置

VSHD20017B

單第0 -0047 表

□600*h800

10 個 当り

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159

単第0 -0048 表

小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り
9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

コンクリート

小型構造物 18-8-40BB

機械構成比: 0.00%

SPK25040157

人力打設

材料構成比: 58.85%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0049 表

1

標準単価:

m3

当り

36,756.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0065

プレキャスト集水桝

SPK25040096

単第0 -0050 表

据付 基礎碎石無し

製品質量(kg/基)600kgを超え800kg以下

1

基 当り

機械構成比: 9.08%

労務構成比:

88.46%

材料構成比:

2.46%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

7,987.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.57%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	32.60%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	31.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	15.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0066

プレキャスト集水桝

SPK25040096

單第0 -0050 表

据付 基礎碎石無し

製品質量(kg/基)600kgを超え800kg以下

1

基 当り

機械構成比: 9.08%

勞務構成比：

88.46%

材料構成比: 2.46%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

7,987.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0067

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0051 表

機械施工

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0068

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

単第0 -0052 表

1
標準単価：
m2 当り
174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0069

**不陸整正
補足材料無し
機械構成比：**

SPK25040234

單第0 -0052 表

1

m2 当り

標準単価：

174.53000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0070

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0053 表

全仕上り厚150mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比:

75.95%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0071

下層路盤(車道・路肩部)
全仕上り厚150mm 1層施工
機械構成比: 5.72% 労務構成比: 18.33%
RC-40
SPK25040235
市場単価構成比: 0.00%
1
標準単価: 1,289.30000
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 40～0mm	74.21%		クラッシャー 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0072

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0054 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当たり平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0073

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0054 表

1

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

標準単価：

m2

当り

機械構成比：0.43%

労務構成比：44.34%

材料構成比：55.23%

市場単価構成比：0.00%

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=6 G=2 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(20) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=50 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0074

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25%
SPK25040155
DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)
71.03%
労務構成比:
材料構成比: 8.72%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0055 表
標準単価: 1
m3 当り
5,615.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 E=1 舗装版破碎 DID区間無し -(全ての費用)			B=4 D=31 機械積込(小規模土工) 運搬距離7.0km以下(5.5km超)		

施工単価表

頁0 -0075

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)
労務構成比: 44.82%

単第0 -0056 表
材料構成比: 14.41%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
2,475.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

頁0 -0076

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し
クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊

SPK25040412

単第0 -0057 表

1
t 当り
標準単価： 10,110.00000

機械構成比： 17.23% 労務構成比： 78.98% 材料構成比： 3.79% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	17.23%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	39.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	38.87%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊					

施工単価表

頁0 -0077

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊
機械構成比: 17.30% 労務構成比: 78.90% 材料構成比: 3.80% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)

単第0 -0058 表
1
標準単価: 13,776.00000
t 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	17.30%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	39.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	39.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=17 クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0078

敷鉄板賃料

S1050029

單第0 -0059 表

 $22 \times 914 \times 1829, 289 \text{kg/枚}$

貸貸期間121日

1

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0079

敷鉄板設置

S1050041

單第0 -0060 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0080

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

S9035

單第0 -0061 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0081

敷鉄板撤去

S1050043

單第0 -0062 表

100

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0082

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 2.9km	製品長 12m以内

單第0 -0063 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0083

基本運賃
運搬距離 2.9km

S1000009

單第0 -0064 表

製品長 12m以内 運搬質量 13.42t

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0084

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0065 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0085

伐採・伐採除根

VBS00001A

單第0 -0066 表

式 当り

A箇所[illegible]

施工単価表

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・2 t 積級

S9050

単第0 -0067 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	25.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.17	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.17	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 オンロード・ディーゼル・2 t 積級 C=25 軽油消費量 (L／日) E=1 路面状況：良好 G=0 労務単価の夜間等割増率			B=1 運転労務数量 (人／日) D=1.17 機械損料数量 (供用日／日) F=1		

施工単価表

頁0 -0087

伐採・伐採除根
C箇所

VBS00001C

單第0 -0068 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0088

伐採・伐採除根
E箇所

VBS00001E

單第0 -0069 表

1

式 当り

[illegible]

[illegible]

3. 32-

総括数量表

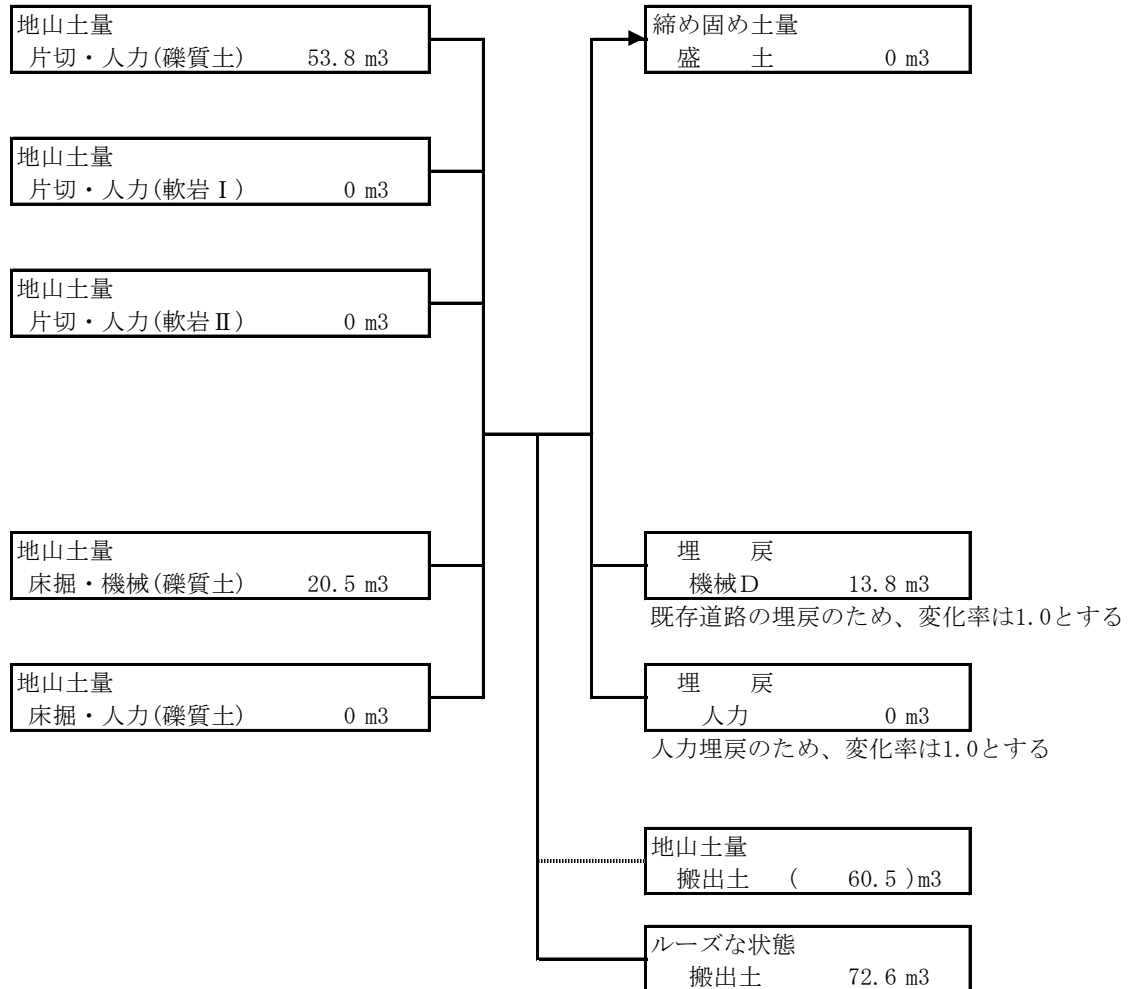
[illegible]

総括数量表

[illegible]

土工収支表

A箇所
敷地造成工事



土工収支表

C箇所
敷地造成工事

地山土量
片切・人力(礫質土) 13.6 m3

地山土量
片切・人力(軟岩Ⅰ) 1.0 m3

地山土量
片切・人力(軟岩Ⅱ) 0 m3

B箇所にて集計
地山土量
床掘・機械(礫質土) 12.9 m3

地山土量
床掘・人力(礫質土) 0 m3

締め固め土量
盛土 0 m3

B箇所にて集計
埋戻
機械D 8.7 m3
既存道路の埋戻のため、変化率は1.0とする

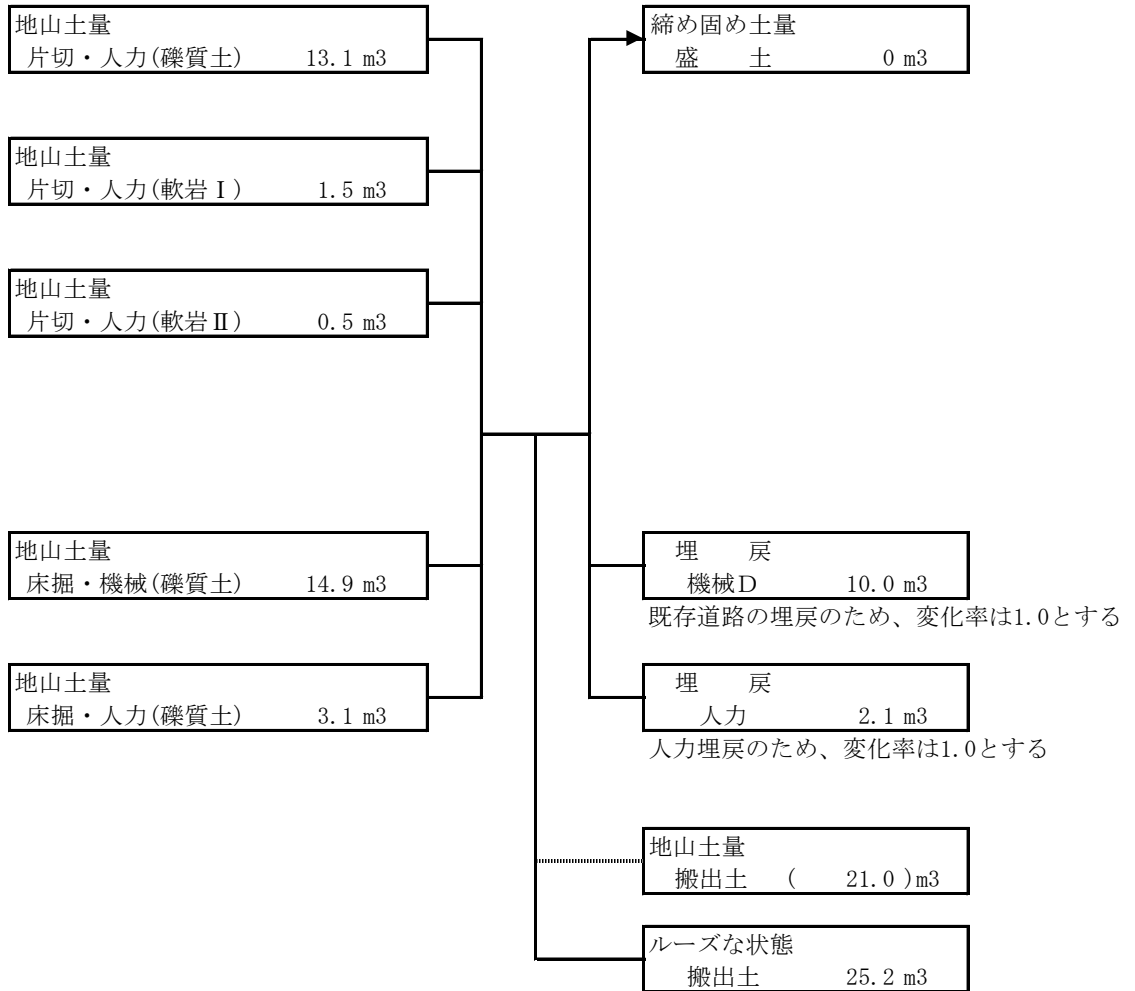
埋戻
人力 0 m3
人力埋戻のため、変化率は1.0とする

地山土量
搬出土 (18.8)m3

ルーズな状態
搬出土 22.6 m3

土 工 収 支 表

E箇所
敷地造成工事



施 設 土 工(機械) 集 計 表

種 別	規 格	数 量	単位	床掘 (m3)		埋戻(D) (m3)		基面整正 (m2)		路床転圧 (m2)		単位当り		総数量
				単位当り	総数量	単位当り	総数量	単位当り	総数量	単位当り	総数量			
A箇所														
仮設防護柵設置時		21.6	m	0.67	14.5	—		0.18	3.9	—				
設置後埋め戻し		21.6	m	—		0.53	11.4	—		—				
撤去後復旧		21.6	m	0.28	6.0	0.11	2.4	—		1.60	34.6			
			計		20.5		13.8		3.9		34.6			
C箇所														
仮設防護柵設置時		13.6	m	0.67	9.1	—		0.18	2.4	—				
設置後埋め戻し		13.6	m	—		0.53	7.2	—		—				
撤去後復旧		13.6	m	0.28	3.8	0.11	1.5	—		1.60	21.8			
			計		12.9		8.7		2.4		21.8			
E箇所														
仮設防護柵設置時		15.6	m	0.67	10.5	—		0.18	2.8	—				
設置後埋め戻し		15.6	m	—		0.53	8.3	—		—				
撤去後復旧		15.6	m	0.28	4.4	0.11	1.7	—		1.60	25.0			
			計		14.9		10.0		2.8		25.0			
	合計				(m3) 48.3		(m3) 32.5		(m2) 9.1		(m2) 81.4			

施 設 土 工(人力) 集 計 表

種 別	規 格	数 量	単位	床掘 (m3)		埋戻(D) (m3)		基面整正 (m2)		路床転圧 (m2)		単位当り		総数量
				単位当り	総数量	単位当り	総数量	単位当り	総数量	単位当り	総数量			
E箇所 1号集水桝		1.0	基	1.53	1.5	1.15	1.2	—		—				
資料館排水路復旧1		3.5	m	0.22	0.8	0.17	0.6	—		—				
資料館排水路復旧2		5.3	m	0.15	0.8	0.06	0.3	—		—				
	合計				(m3) 3.1		(m3) 2.1		(m2)		(m2)			

樹木伐採工(C箇所)

数量集計書

[illegible]

第 表 切土工(C1:礫質土) 数 量 計 算 書									
測 点	距 離 (m)	A箇所			測 点	距 離 (m)			
		断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)			断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)
		0.4							
NO.0	4.7	3.9	2.15	10.1					
NO.0+5.0	6.8	2.6	3.25	22.1					
NO.0+10.5	5.5	2.8	2.70	14.9					
	4.2	0.4	1.60	6.7					
合 計	21.2			53.8	合 計	0.0			-

第 表 切土工(C1:礫質土) 数 量 計 算 書									
測 点	距 離 (m)	C箇所			測 点	距 離 (m)	E箇所		
		断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)			断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)
		0.2					0.7		
NO.0+14.0	1.6	0.4	0.30	0.5	NO.3	1.7	1.2	0.95	1.6
NO.0+16.0	2.4	1.4	0.90	2.2	NO.3+2.5	2.5	2.4	1.80	4.5
NO.0+18.0	2.3	3.0	2.20	5.1	NO.3+5.0	2.5	1.9	2.15	5.4
	3.6	0.2	1.60	5.8		1.4	0.4	1.15	1.6
合 計	9.9			13.6	合 計	8.1			13.1

第 表 切土工(C2:軟岩 I) 数 量 計 算 書									
測 点	距 離 (m)	C箇所			測 点	距 離 (m)	E箇所		
		断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)			断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)
							0.0		
		0.0	-	-	NO.3	0.9	1.4	0.70	0.6
NO.0+16.0	1.2	0.8	0.40	0.5		1.3	0.0	0.70	0.9
NO.0+18.0	1.2	0.0	0.40	0.5					
合 計	2.4			1.0	合 計	2.2			1.5

第 表 切土工(C3:軟岩Ⅱ) 数 量 計 算 書									
測 点	距 離 (m)	C箇所			測 点	距 離 (m)	E箇所		
		断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)			断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)
							0.0		
		0.0	-	-	N0.3	0.9	0.4	0.20	0.2
N0.0+16.0	1.2	0.5	0.25	0.3		1.3	0.0	0.20	0.3
N0.0+18.0	1.2	0.0	0.25	0.3					
合 計	2.4			0.6	合 計	2.2			0.5

施設工(A箇所)

数 量 集 計 書

種 別	規 格	算 式	単位	数 量	備 考
仮設防護柵設置時					
Asカッター工			m	29.9	
As材撤去		0.05*35.6	m2 m3	35.6 1.78	
仮設防護柵設置	タイプⅦ		m	20.0	
仮設防護柵撤去	コンクリート材	1.44/10*20.0	m3	2.88	
〃	鋼材	969.8/10*20.0	kg	1,940	
〃	木材	1.44/10*20.0	m3	2.88	
仮設防護柵撤去後					
路床転圧			m2	35.6	
碎石路盤	t=15cm RC-40		m2	35.6	
密粒度アスコン	t=5cm		m2	35.6	
敷鉄板設置撤去工	289kg/枚 22-914×1829	14*289/1000	t 枚	4.05 14.0	

施設工(C箇所)

数 量 集 計 書

種 別	規 格	算 式	単位	数 量	備 考
仮設防護柵設置時					
Asカッター工			m	30.4	
As材撤去		0.05*21.8	m2 m3	21.8 1.09	
仮設防護柵設置	タイプⅦ		m	12.0	
仮設防護柵撤去	コンクリート材	1.44/10*12.0	m3	1.73	
〃	鋼材	969.8/10*12.0	kg	1,164	
〃	木材	1.44/10*12.0	m3	1.73	
仮設防護柵撤去後					
路床転圧			m2	21.8	
碎石路盤	t=15cm RC-40		m2	21.8	
密粒度アスコン	t=5cm		m2	21.8	
敷鉄板設置撤去工	289kg/枚 22-914×1829	6.00*289/1000	t 枚	1.73 6.0	

施設工(E箇所)-1

数 量 集 計 書

種 別	規 格	算 式	単位	数 量	備 考
仮設防護柵設置時					
Asカッター工			m	19.4	
As材撤去		0.05*29.6	m2 m3	29.6 1.48	
仮設防護柵設置	タイプⅦ		m	14.0	
仮設防護柵撤去	コンクリート材	1.44/10*14.0	m3	2.02	
〃	鋼材	969.8/10*14.0	kg	1,358	
〃	木材	1.44/10*14.0	m3	2.02	
仮設防護柵撤去後					
路床転圧			m2	29.6	
碎石路盤	t=15cm RC-40		m2	29.6	
密粒度アスコン	t=5cm		m2	29.6	
敷鉄板設置撤去工	289kg/枚 22-914×1829	11*289/1000	t 枚	3.18 11.0	

施工工(E箇所)-2

数量集計書

[illegible]

吹付工(A箇所)

数量計算書

[illegible]

吹付工(C箇所)

数量計算書

[illegible]

吹付工(E箇所)

数量計算書

[illegible]

第 表 モルタル吹付 (A箇所) 数 量 計 算 書									
測 点	平 均 距 離 (m)	上段、中段			測 点	平 均 距 離 (m)	下段		
		法 長 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)			法 長 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)
(上段)		4.28			(下段)		0.00		
	2.34	5.60	4.94	11.6		2.17	2.82	1.41	3.1
NO.0	2.60	6.33	5.97	15.5	NO.0	2.22	5.66	4.24	9.4
	1.95	6.59	6.46	12.6		1.49	5.66	5.66	8.4
	2.02	6.84	6.72	13.6		1.50	5.66	5.66	8.5
	2.03	6.24	6.54	13.3		1.55	5.66	5.66	8.8
NO.0+5.0	2.05	5.64	5.94	12.2	NO.0+5.0	1.56	5.66	5.66	8.8
	2.46	5.71	5.68	14.0		2.77	6.54	6.10	16.9
NO.0+10.5	2.82	3.95	4.83	13.6	NO.0+10.5	2.72	7.43	6.99	19.0
	1.96	2.79	3.37	6.6		2.17	5.30	6.37	13.8
	2.06	1.63	2.21	4.6		2.13	3.18	4.24	9.0
	ネット部		計	117.6					
(中段)									
NO.0		0.00							
	1.74	0.81	0.41	0.7					
	1.78	1.62	1.22	2.2					
	1.80	2.43	2.03	3.7					
NO.0+5.0	1.82	3.25	2.84	5.2					
	2.51	1.62	2.44	6.1					
NO.0+10.5	2.80	0.00	0.81	2.3					
	ネットなし部		計	20.2					
合 計	34.7			137.8	合 計	20.3			105.7

第 表 モルタル吹付 (C箇所) 数 量 計 算 書									
測 点	平 均 距 離 (m)	上段			測 点	平 均 距 離 (m)	下段		
		法 長 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)			法 長 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)
		0.00					1.89		
	0.80	1.40	0.70	0.6		0.80	2.57	2.23	1.8
NO.0+14.0	0.85	2.18	1.79	1.5	NO.0+14.0	0.82	3.25	2.91	2.4
NO.0+16.0	2.50	4.79	3.49	8.7		ネット部		計	4.2
NO.0+18.0	2.61	3.31	4.05	10.6					
	1.95	4.31	3.81	7.4	NO.0+14.0		3.25	1.63	-
	1.72	2.64	3.48	6.0	NO.0+16.0	2.26	4.51	3.88	8.8
					NO.0+18.0	2.29	5.51	5.01	11.5
						1.79	2.55	4.03	7.2
						1.71	0.00	1.28	2.2
						ネットなし部		計	29.7
合 計	10.4			34.8	合 計	9.7			33.9

第 表 モルタル吹付 (E箇所) 数 量 計 算 書									
測 点	平 均 距 離 (m)	上 段			測 点	平 均 距 離 (m)	下 段		
		法 長 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)			法 長 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)
		0.00					0.00		
	0.30	2.46	1.23	0.4		0.81	5.36	2.68	2.2
NO. 3	1.37	2.73	2.60	3.6		0.30	5.38	5.37	1.6
	0.16	2.77	2.75	0.4	NO. 3	1.22	5.49	5.44	6.6
	0.12	0.00	1.39	0.2		0.19	0.00	2.75	0.5
	0.12	2.83	1.42	0.2		0.19	5.54	2.77	0.5
NO. 3+2.5	2.60	2.69	2.76	7.2	NO. 3+2.5	2.51	5.49	5.52	13.9
	2.51	3.15	2.92	7.3	NO. 3+5.0	2.51	5.49	5.49	13.8
NO. 3+5.0	0.53	2.95	3.05	1.6		0.49	0.00	2.75	1.3
	0.13	0.00	1.48	0.2		0.49	5.54	2.77	1.4
	0.13	2.47	1.24	0.2		0.35	5.49	5.52	1.9
	0.74	0.00	1.24	0.9		1.36	0.00	2.75	3.7
合 計	8.7			22.2	合 計	10.4			47.4

第 表 仮設足場工 数量計算書									
測 点	距 離 (m)	A箇所			測 点	距 離 (m)			
		断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)			断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)
		5.1							
NO.0	5.5	14.5	9.80	53.9					
NO.0+5.0	6.6	13.4	13.95	92.1					
NO.0+10.5	5.5	10.1	11.75	64.6					
	4.8	4.9	7.50	36.0					
合 計	22.4			246.6	合 計	0.0			-

第 表 仮設足場工 数 量 計 算 書									
測 点	距 離 (m)	C箇所			測 点	距 離 (m)	E箇所		
		断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)			断面積 (m2)	平 均 (m)	体 積 (空m3)
		4.8					5.1		
NO.0+14.0	2.1	7.5	6.15	12.9	NO.3	2.0	16.5	10.80	21.6
	0.9	7.5	7.50	6.8	NO.3+2.5	2.5	16.6	16.55	41.4
		12.0	9.75	-	NO.3+5.0	2.5	16.0	16.30	40.8
NO.0+16.0	1.5	12.0	12.00	18.0		1.7	3.2	9.60	16.3
NO.0+18.0	2.3	9.5	10.75	24.7					
	4.2	5.7	7.60	31.9					
合 計	11.0			94.3	合 計	8.7			120.1

高強度ネット工 (A箇所)

数量計算書

[illegible]

高強度ネット工算出根拠(A箇所)

1. 高強度ネット

必要数量率: 1.4

※下記分類表において、Case 3 に該当するものと想定し、上記の通り設定する。

ネット必要数量率

分類	必要数量率	法面の状況
Case1	1.2	斜面形状が四角形に近く凹凸も少ない
Case2	1.3	斜面形状が緩やかで上下の水平距離差、凹凸も比較的小さい
Case3	1.4	斜面形状が比較的急で上下の水平距離差、凹凸もやや大きい
Case4	1.5	斜面形状が急で上下の水平距離差、凹凸も大きい

対策面積 : 117.6 (m²) 求積表参照

ネット必要面積 : 対策面積 × 必要数量率 = 118 × 1.4 = 164.6 (m²)

1ロールあたり面積: 3.5m × 30m = 105 (m²)

必要ロール数 : ネット必要面積 ÷ 1ロールあたり面積 = 165 ÷ 105 = 1.57
→ 2.0 (ロール)

参考資料等

(a) 必要数量率についての参考資料

- 1) (社)全国特定法面保護協会技術委員会「のり面保護工に関する質疑応答集」平成12年5月改訂「のり面保護工における金網張工のロス率について」
- 2) 令和元年版 治山林道必携 積算・施工編 上巻 4-1-4 簡易法枠工
ラス張工歩掛—金網材料 100m² 当り 140m² ⇒ 必要数量率 40%

2. ネット接続金具

(縦方向)

接続個所数: 2.0 (個所/m²)

必要個数 : 164.6 × 2 = 330 (個)

(横方向)

ネット枚数: 2 枚 (ロール)

必要個数 : (2 - 1) × 43 = 43 (個)

接続金具は、1 網目に 1 個使用する。

算定の考え方は、金網が 3.5m × 30m = 105m²、網目 83 × 143mm とした場合、縦方向の接続網目数は 30m ÷ 0.143m ≒ 210 網目となり、それを m² 当りに換算する考え方で行う。
したがって、210 網目 × 1 個 / 網目 ÷ 105m² = 2 個 / m² となる。

また、横方向の接続は適宜計上する。その場合における接続金具の個数は、一列当たり 3.5m ÷ 0.083m ≒ 43 網目、つまり 43 個 / 3.5m となる。

【数量の算出】

計上数量 (使用数量) = 施工面積 × 2 個 × 必要数量率 + 横方向の接続個数

高強度ネット工 (C箇所)

数量計算書

[illegible]

高強度ネット工算出根拠(C箇所)

1. 高強度ネット

必要数量率: 1.4

※下記分類表において、Case 3 に該当するものと想定し、上記の通り設定する。

ネット必要数量率

分類	必要数量率	法面の状況
Case1	1.2	斜面形状が四角形に近く凹凸も少ない
Case2	1.3	斜面形状が緩やかで上下の水平距離差、凹凸も比較的小さい
Case3	1.4	斜面形状が比較的急で上下の水平距離差、凹凸もやや大きい
Case4	1.5	斜面形状が急で上下の水平距離差、凹凸も大きい

対策面積 : 39.0 (m²) 求積表参照

ネット必要面積 : 対策面積 × 必要数量率 = 39 × 1.4 = 54.6 (m²)

1ロールあたり面積: 3.5m × 30m = 105 (m²)

必要ロール数 : ネット必要面積 ÷ 1ロールあたり面積 = 55 / 105 = 0.52
→ 1.0 (ロール)

参考資料等

(a) 必要数量率についての参考資料

- 1) (社)全国特定法面保護協会技術委員会「のり面保護工に関する質疑応答集」平成12年5月改訂「のり面保護工における金網張工のロス率について」
- 2) 令和元年版 治山林道必携 積算・施工編 上巻 4-1-4 簡易法枠工
ラス張工歩掛—金網材料 100m² 当り 140m² ⇒ 必要数量率 40%

2. ネット接続金具

(縦方向)

接続個所数: 2.0 (個所/m²)

必要個数 : 54.6 × 2 = 110 (個)

(横方向)

ネット枚数: 1 枚 (ロール)

必要個数 : (1 - 1) × 43 = 0 (個)

接続金具は、1 網目に 1 個使用する。

算定の考え方は、金網が 3.5m × 30m = 105m²、網目 83 × 143mm とした場合、縦方向の接続網目数は 30m ÷ 0.143m ≒ 210 網目となり、それを m² 当りに換算する考え方で行う。
したがって、210 網目 × 1 個 / 網目 ÷ 105m² = 2 個 / m² となる。

また、横方向の接続は適宜計上する。その場合における接続金具の個数は、一列当たり 3.5m ÷ 0.083m ≒ 43 網目、つまり 43 個 / 3.5m となる。

【数量の算出】

計上数量 (使用数量) = 施工面積 × 2 個 × 必要数量率 + 横方向の接続個数

高強度ネット工 (E箇所)

数量計算書

[illegible]

高強度ネット工算出根拠(E箇所)

1. 高強度ネット

必要数量率: 1.4

※下記分類表において、Case 3 に該当するものと想定し、上記の通り設定する。

ネット必要数量率

分類	必要数量率	法面の状況
Case1	1.2	斜面形状が四角形に近く凹凸も少ない
Case2	1.3	斜面形状が緩やかで上下の水平距離差、凹凸も比較的小さい
Case3	1.4	斜面形状が比較的急で上下の水平距離差、凹凸もやや大きい
Case4	1.5	斜面形状が急で上下の水平距離差、凹凸も大きい

対策面積 : 69.6 (m²) 求積表参照

ネット必要面積 : 対策面積 × 必要数量率 = 69.6 × 1.4 = 97.4 (m²)

1ロールあたり面積: 3.5m × 30m = 105 (m²)

必要ロール数 : ネット必要面積 ÷ 1ロールあたり面積 = 97.4 ÷ 105 = 0.93
→ 1.0 (ロール)

参考資料等

(a) 必要数量率についての参考資料

- 1) (社)全国特定法面保護協会技術委員会「のり面保護工に関する質疑応答集」平成12年5月改訂「のり面保護工における金網張工のロス率について」
- 2) 令和元年版 治山林道必携 積算・施工編 上巻 4-1-4 簡易法枠工
ラス張工歩掛—金網材料 100m² 当り 140m² ⇒ 必要数量率 40%

2. ネット接続金具

(縦方向)

接続個所数: 2.0 (個所/m²)

必要個数 : 97.4 × 2 = 195 (個)

(横方向)

ネット枚数: 1 枚 (ロール)

必要個数 : (1 - 1) × 43 = 0 (個)

接続金具は、1 網目に 1 個使用する。

算定の考え方は、金網が 3.5m × 30m = 105m²、網目 83 × 143mm とした場合、縦方向の接続網目数は 30m ÷ 0.143m ≒ 210 網目となり、それを m² 当りに換算する考え方で行う。
したがって、210 網目 × 1 個 / 網目 ÷ 105m² = 2 個 / m² となる。

また、横方向の接続は適宜計上する。その場合における接続金具の個数は、一列当たり 3.5m ÷ 0.083m ≒ 43 網目、つまり 43 個 / 3.5m となる。

【数量の算出】

計上数量 (使用数量) = 施工面積 × 2 個 × 必要数量率 + 横方向の接続個数

鉄筋挿入工 (A箇所)

数量計算書

種 別	規 格	算 式	単位	単位当り 数量	数 量	備 考
現場条件Ⅱ	D22 φ 65mm	ボルト長 頭部余長 本数 (4.0 - 0.1) × 30 = 117.0m	m	1本当り 3.90	117.0	
削孔機械の上下移動	各段施工 段数-1回	施工段 8.0 - 1.0 = 7.0 回	回		7.0	
仮設足場設置撤去	W=3.0m	足場求積表参照	空m3		246.6	
メッキ ネジ節異形棒鋼	D22 4.0m	展開図参照	本		30	
スパーサー	D22-65	全体本数 単数 30 × 2 = 60 個	個	1本当り 2	60	
キャップ付ナット	D22用	展開図参照	枚	1本当り 1	30	
高強度ネット用 プレート	CMPL-400	展開図参照	枚	1本当り 1	30	
グラウト材	σ =24N/mm2	グラウト使用量 (π /4×削孔径 ^ 2 /10 ^ 6) × 削孔長 × 1.4 (ロス率)	m3		(0.54)	
ポルトランドセメント	普通	1,230kg/m3	kg	m3当り 1,230	668.6	
シーカセム FLC400	減水剤	減水剤 (セメント量C×1%)	ℓ	m3当り 12.3	6.7	
鉄筋挿入工の市場単価の規格・仕様区分は下記のとおりである。 土木コスト情報 2025.10秋						
表2.1 鉄筋挿入工			《現場条件Ⅰ》 《現場条件Ⅱ》 《現場条件Ⅲ》			
区分	規 格 ・ 仕 様				単 位	
現場条件	足場種別 (削孔時)	足場種別 (鋼材挿入・ グラウト注入・ 頭部処理時)	法面垂直高	削 孔 長	削 孔 径	
I	-	ロープ足場 (命綱)	30m以下	1 m ≦ L ≦ 5 m	42mm ≦ φ ≦ 65mm	m
Ⅱ	仮設足場 (単管足場) または土足場	40m以下 (ただし、機械 設備基面から 削孔位置まで の高さが1 m 以下)		1 m ≦ L ≦ 5 m	42mm ≦ φ ≦ 65mm	m
Ⅲ	ロープ足場 (命綱)		40m以下	1 m ≦ L ≦ 2 m	42mm ≦ φ ≦ 50mm	m
現場条件Ⅰ：削孔に要する重機の搬入が可能な場合 Ⅱ：施工スペースが狭隘で、削孔に要する重機の搬入が困難である場合 Ⅲ：施工スペースが狭隘で、削孔に要する重機の搬入、仮設足場（単管足場）の設置、土足場の確保が困難である場合						

鉄筋挿入工(C箇所)

数 量 計 算 書

種 別	規 格	算 式	単位	単位当り 数量	数 量	備 考
現場条件Ⅱ	D19 φ 65mm	ボルト長 頭部余長 本数 (2.5 - 0.1) × 15 = 36.0m	m	1本当り 2.40	36.0	
削孔機械の上下移動	各段施工 段数-1回	施工段 8.0 - 1.0 = 7.0 回	回		7.0	
仮設足場設置撤去	W=3.0m	足場求積表参照	空m3		94.3	
メッキ ネジ節異形棒鋼	D19 2.5m	展開図参照	本		15	
スペーサー	D19-65	全体本数 単数 15 × 2 = 30 個	個	1本当り 2	30	
キャップ付ナット	D19用	展開図参照	枚	1本当り 1	15	
高強度ネット用 プレート	CMPL-200	展開図参照	枚	1本当り 1	15	
グラウト材	σ =24N/mm2	グラウト使用量 (π /4×削孔径 ² /10 ⁶)×削孔長×1.4 (ロス率)	m3		(0.17)	
ボルトランドセメント	普通	1,230kg/m3	kg	m3当り 1,230	205.7	
シーカセム FLC400	減水剤	減水剤 (セメント量C×1%)	ℓ	m3当り 12.3	2.1	

鉄筋挿入工(E箇所)

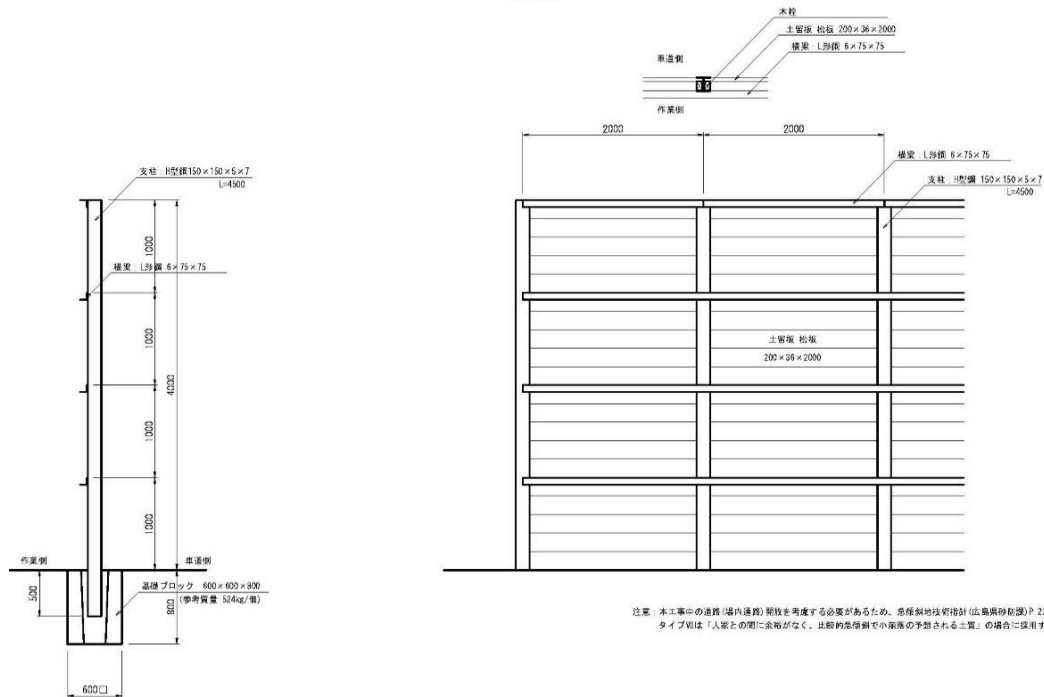
数 量 計 算 書

種 別	規 格	算 式	単位	単位当り 数量	数 量	備 考
現場条件Ⅱ	D19 φ 65mm	ボルト長 頭部余長 本数 (2.0 - 0.1) × 21 = 39.9m	m	1本当り 1.90	39.9	
削孔機械の上下移動	各段施工 段数-1回	施工段 5.0 - 1.0 = 4.0 回	回		4.0	
仮設足場設置撤去	W=3.0m	足場求積表参照	空m3		120.1	
メッキ ネジ節異形棒鋼	D19 2.0m	展開図参照	本		21	
スペーサー	D19-65	全体本数 単数 21 × 2 = 42 個	個	1本当り 2	42	
キャップ付ナット	D19用	展開図参照	枚	1本当り 1	21	
高強度ネット用 プレート	CMPL-200	展開図参照	枚	1本当り 1	21	
グラウト材	σ =24N/mm2	グラウト使用量 (π /4×削孔径 ² /10 ⁶)×削孔長×1.4 (ロス率)	m3		(0.19)	
ボルトランドセメント	普通	1,230kg/m3	kg	m3当り 1,230	228.0	
シーカセム FLC400	減水剤	減水剤 (セメント量C×1%)	ℓ	m3当り 12.3	2.3	

仮設防護柵(タイプⅦ)設置 計 算 書

仮設防護柵 タイプⅦ (H=4.00m)

S=1 : 25



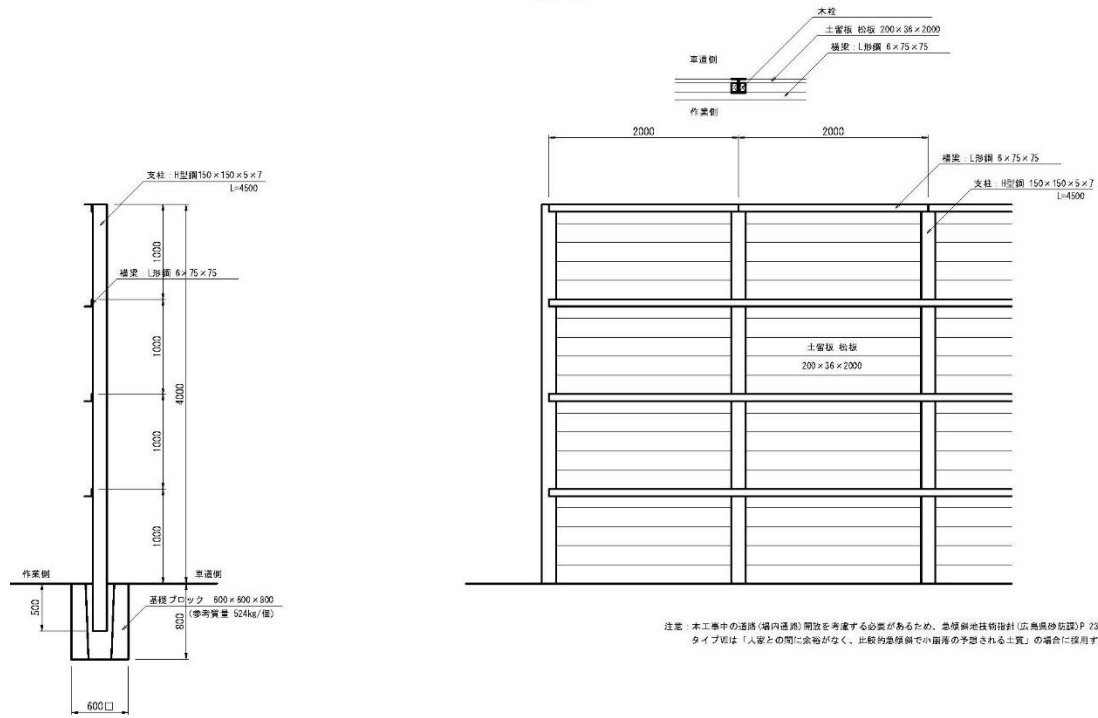
注意：本工事中の道路(場内道路)開放を考慮するため、急傾斜地技術指針(広島県砂防課)P.231のタイプⅧを採用する。
タイプⅧは「人家との間に余裕がなく、比較的急傾斜で小断面の予想される土質」の場合に採用するタイプである。

10m 当り

[illegible]

仮設防護柵(タイプⅦ)撤去 計 算 書

仮設防護柵 タイプⅦ (H=4.00m)
S=1:25



注意：本工事中の道路（場内通路）開放を考慮する必要があるため、急傾斜地技術指針（広島県砂防課）P.231のタイプⅢを採用する。
タイプⅢは「人家との間に余裕がなく、比較的に急傾斜で小規模の予想される土質」の場合に採用するタイプである。

10m 当り

[illegible]

表

計 算 書

Figure 1: Cross-section diagram of the road surface structure. The diagram shows a cross-section of a road with a base layer and a surface layer. The base layer is labeled "基礎ブロック容量埋戻" (Base block capacity backfill) and has a height of 150 cm. The surface layer is labeled "砕石路盤 RC-40" (Crushed stone road base RC-40) and has a thickness of 15 cm. Above the surface layer is a layer of "密粒度アスコン t=5cm" (Fine-grained asphalt concrete t=5cm). The total width of the road is labeled "1600標準×L" (1600 standard × L). The diagram also shows a "アスファルト舗装復旧工" (Asphalt pavement restoration work) area.

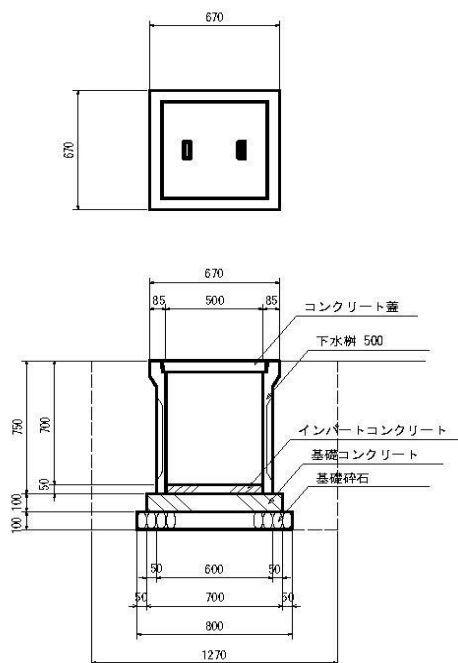
10m 当り

[illegible]

計 第

表

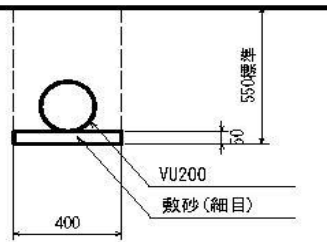
1号集水桝 計 算 書



1基当り

種 別	規 格	算 式	数 量	
床掘	人力	$0.95 \times 1.27 \times 1.27$	m3	別途集計 (1.53)
埋戻	人力	$1.53 - (0.75 \times 0.60 \times 0.60 + 0.10 \times 0.70 \times 0.70 + 0.10 \times 0.80 \times 0.80)$	m3	別途集計 (1.15)
基面整正		人力土工のため、非計上		
基礎碎石	t=100 RC-40	0.80×0.80	m2	0.64
均しコンクリート		$0.10 \times 0.70 \times 0.70$	m3	0.05
インバートコンクリート		$0.05 \times 0.60 \times 0.60$	m3	0.02
下水桝	コンクリート蓋付 500		組	1.0

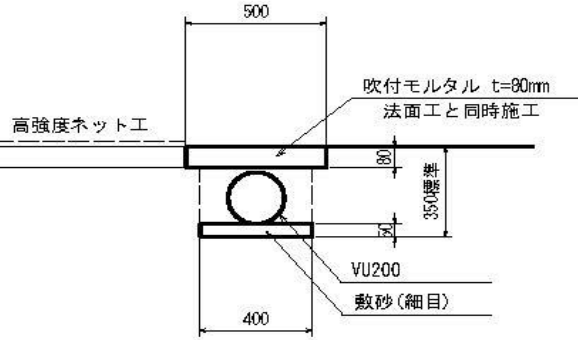
資料館排水路復旧1 計 算 書



10m 当り

[illegible]

資料館排水路復旧2 計 算 書



10m 当り

[illegible]